

5 個別調査票による死亡事例の調査結果

(1) 虐待による死亡の状況

厚生労働省が、都道府県等に対する調査により把握した、令和3年4月から令和4年3月までの1年間（第19次報告の対象期間）に発生又は表面化した児童虐待による死亡事例は、心中以外の虐待死事例では50例（50人）、心中による虐待死事例（未遂により親は生存したがこどもは死亡したものを含む。）では18例（24人）であり、総数は68例（74人）であった。また、前回の第18次報告に引き続き、第19次報告においても、都道府県等が虐待による死亡と断定できないと報告があった事例について、本委員会にて検証を行い、虐待による死亡事例として取り扱ふと判断された事例（以下「疑義事例」という。）についても合わせて計上することとした（疑義事例は、各表において（ ）で内数として示す。）。第19次報告の死亡事例数及び人数を第18次報告（令和2年4月から令和3年3月まで）と比較すると、心中以外の虐待死事例では、事例数は3例の増加、死亡した人数は1人増加した。心中による虐待死事例では事例数は1例の減少、死亡した人数は4人減少した。

また、第1次報告から第19次報告までの期間中に把握した児童虐待による死亡事例数及び死亡人数は、心中以外の虐待死事例では939例（989人）、心中による虐待死事例では446例（619人）であった。

表1 死亡事例数及び人数（心中以外の虐待死）^{注1) 注2)}

区分	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第8次	第9次	第10次
例数	24	48	51	52	73	64	47	45	56	49
人数	25	50	56	61	78	67	49	51	58	51

区分	第11次	第12次	第13次	第14次	第15次	第16次	第17次	第18次	第19次	総数
例数	36	43	48(8)	49(18)	50(23)	51(22)	56(35)	47(15)	50(21)	939
人数	36	44	52(8)	49(18)	52(23)	54(22)	57(35)	49(15)	50(21)	989

注1) 第1次報告は、対象期間が平成15年7月1日から同年12月末日（半年間）、第5次報告は平成19年1月1日から平成20年3月31日まで（1年3か月間）と、対象期間（月間）が他の報告と異なる。

注2) () 内は、都道府県等が虐待による死亡と断定できないと報告のあった事例について、「児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会」にて検証を行い、虐待死として検証すべきと判断された事例数（以下、同様の取扱いとする。）

表2 死亡事例数及び人数（心中による虐待死）^{注3)}

区分	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第8次	第9次	第10次
例数	-	5	19	48	42	43	30	37	29	29
人数	-	8	30	65	64	61	39	47	41	39

区分	第11次	第12次	第13次	第14次	第15次	第16次	第17次	第18次	第19次	総数
例数	27	21	24(0)	18(2)	8(0)	13(2)	16(3)	19(0)	18(0)	446
人数	33	27	32(0)	28(3)	13(0)	19(3)	21(6)	28(0)	24(0)	619

(2) 死亡したこどもの特性

① こどもの年齢

死亡時点におけるこどもの年齢について、心中以外の虐待死事例では、「0歳」が24人（48.0%）で最も多く、3歳未満は31人（62.0%）と6割を超える状況であった。第1次報告から第19次報告までの推移においても、「0歳」が最も多い結果となった。

また、心中による虐待死事例では、3歳未満は9人（37.5%）であった。

さらに、死亡した0歳を月齢別にみると、心中以外の虐待死事例では、月齢「0か月」が6人（25.0%）であり、0歳児において最も高い割合を占めた。

^{注3)} 表の中で「—」かつ網掛けの箇所は調査が実施されていない事項。（以下同様の取扱いとする。）。

表3 死亡時点のこどもの年齢（心中以外の虐待死）

区分		第1次から第18次まで	第19次	総数(第1次から第19次まで)
0歳	人数	455 (63)	24 (11)	479 (74)
	構成割合	48.5%	48.0%	48.4%
1歳	人数	103 (13)	6 (2)	109 (15)
	構成割合	10.9%	12.0%	11.0%
2歳	人数	68 (6)	1 (1)	69 (7)
	構成割合	7.2%	2.0%	7.0%
3歳	人数	89 (8)	6 (2)	95 (10)
	構成割合	9.5%	12.0%	9.6%
4歳	人数	46 (4)	2 (2)	48 (6)
	構成割合	4.9%	4.0%	4.9%
5歳	人数	36 (2)	1 (0)	37 (2)
	構成割合	3.8%	2.0%	3.7%
6歳	人数	19 (2)	2 (0)	21 (2)
	構成割合	2.0%	4.0%	2.1%
7歳	人数	16 (0)	1 (0)	17 (0)
	構成割合	1.7%	2.0%	1.7%
8歳	人数	4 (0)	0 (0)	4 (0)
	構成割合	0.4%	0.0%	0.4%
9歳	人数	12 (1)	0 (0)	12 (1)
	構成割合	1.3%	0.0%	1.2%
10歳	人数	6 (0)	0 (0)	6 (0)
	構成割合	0.6%	0.0%	0.6%
11歳	人数	8 (0)	1 (1)	9 (1)
	構成割合	0.9%	2.0%	0.9%
12歳	人数	4 (0)	0 (0)	4 (0)
	構成割合	0.4%	0.0%	0.4%
13歳	人数	5 (0)	0 (0)	5 (0)
	構成割合	0.5%	0.0%	0.5%
14歳	人数	9 (4)	0 (0)	9 (4)
	構成割合	1.0%	0.0%	0.9%
15歳	人数	3 (0)	1 (1)	4 (1)
	構成割合	0.3%	2.0%	0.4%
16歳	人数	6 (0)	1 (0)	7 (0)
	構成割合	0.6%	2.0%	0.7%
17歳	人数	4 (1)	0 (0)	4 (1)
	構成割合	0.4%	0.0%	0.4%
不明	人数	46 (17)	4 (1)	50 (18)
	構成割合	4.9%	8.0%	5.1%
計	人数	939 (121)	50 (21)	989 (142)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

表4 死亡時点のこどもの年齢（心中による虐待死）

区分		第2次から第18次まで	第19次	総数(第2次から第19次まで)
0歳	人数	72 (3)	2 (0)	74 (3)
	構成割合	12.1%	8.3%	12.0%
1歳	人数	40 (1)	3 (0)	43 (1)
	構成割合	6.7%	12.5%	6.9%
2歳	人数	40 (1)	4 (0)	44 (1)
	構成割合	6.7%	16.7%	7.1%
3歳	人数	47 (0)	2 (0)	49 (0)
	構成割合	7.9%	8.3%	7.9%
4歳	人数	40 (0)	3 (0)	43 (0)
	構成割合	6.7%	12.5%	6.9%
5歳	人数	50 (0)	1 (0)	51 (0)
	構成割合	8.4%	4.2%	8.2%
6歳	人数	48 (1)	0 (0)	48 (1)
	構成割合	8.1%	0.0%	7.8%
7歳	人数	35 (0)	3 (0)	38 (0)
	構成割合	5.9%	12.5%	6.1%
8歳	人数	41 (0)	1 (0)	42 (0)
	構成割合	6.9%	4.2%	6.8%
9歳	人数	46 (2)	3 (0)	49 (2)
	構成割合	7.7%	12.5%	7.9%
10歳	人数	33 (0)	0 (0)	33 (0)
	構成割合	5.5%	0.0%	5.3%
11歳	人数	27 (0)	0 (0)	27 (0)
	構成割合	4.5%	0.0%	4.4%
12歳	人数	21 (0)	1 (0)	22 (0)
	構成割合	3.5%	4.2%	3.6%
13歳	人数	16 (2)	0 (0)	16 (2)
	構成割合	2.7%	0.0%	2.6%
14歳	人数	12 (0)	0 (0)	12 (0)
	構成割合	2.0%	0.0%	1.9%
15歳	人数	13 (1)	0 (0)	13 (1)
	構成割合	2.2%	0.0%	2.1%
16歳	人数	5 (0)	0 (0)	5 (0)
	構成割合	0.8%	0.0%	0.8%
17歳	人数	4 (0)	1 (0)	5 (0)
	構成割合	0.7%	4.2%	0.8%
不明	人数	5 (1)	0 (0)	5 (1)
	構成割合	0.8%	0.0%	0.8%
計	人数	595 (12)	24 (0)	619 (12)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

表5 死亡した0歳児の月齢

区分	第5次から第18次まで						第19次					
	心中以外の虐待死			心中による虐待死			心中以外の虐待死			心中による虐待死		
	人数	構成割合	累計構成割合	人数	構成割合	累計構成割合	人数	構成割合	累計構成割合	人数	構成割合	累計構成割合
0か月	173 (20)	46.8%	46.8%	7 (0)	12.1%	12.1%	6 (2)	25.0%	25.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
1か月	22 (8)	5.9%	52.7%	5 (0)	8.6%	20.7%	3 (1)	12.5%	37.5%	0 (0)	0.0%	0.0%
2か月	36 (9)	9.7%	62.4%	5 (1)	8.6%	29.3%	4 (3)	16.7%	54.2%	0 (0)	0.0%	0.0%
3か月	20 (6)	5.3%	67.8%	2 (0)	3.4%	32.8%	3 (1)	12.5%	66.7%	0 (0)	0.0%	0.0%
4か月	22 (3)	5.9%	73.8%	7 (1)	12.1%	44.8%	1 (1)	4.2%	70.8%	0 (0)	0.0%	0.0%
5か月	16 (2)	4.3%	78.1%	4 (0)	6.9%	51.7%	5 (3)	20.8%	91.7%	0 (0)	0.0%	0.0%
6か月	19 (4)	5.1%	83.2%	3 (0)	5.2%	56.9%	1 (0)	4.2%	95.8%	0 (0)	0.0%	0.0%
7か月	17 (4)	4.5%	87.8%	9 (0)	15.5%	72.4%	0 (0)	0.0%	95.8%	0 (0)	0.0%	0.0%
8か月	10 (2)	2.7%	90.5%	7 (0)	12.1%	84.5%	0 (0)	0.0%	95.8%	0 (0)	0.0%	0.0%
9か月	11 (0)	2.9%	93.5%	4 (0)	6.9%	91.4%	0 (0)	0.0%	95.8%	1 (0)	50.0%	50.0%
10か月	11 (3)	2.9%	96.5%	1 (0)	1.7%	93.1%	0 (0)	0.0%	95.8%	1 (0)	50.0%	100.0%
11か月	12 (2)	3.2%	99.7%	4 (1)	6.9%	100.0%	1 (0)	4.2%	100.0%	0 (0)	0.0%	100.0%
月齢不明	1 (0)	0.3%	100.0%	0 (0)	0.0%	100.0%	0 (0)	0.0%	100.0%	0 (0)	0.0%	100.0%
計	370 (63)	100.0%		58 (3)	100.0%		24 (11)	100.0%		2 (0)	100.0%	

区分	総数(第5次から第19次まで)					
	心中以外の虐待死			心中による虐待死		
	人数	構成割合	累計構成割合	人数	構成割合	累計構成割合
0か月	179 (22)	45.4%	45.4%	7 (0)	11.7%	11.7%
1か月	25 (9)	6.3%	51.8%	5 (0)	8.3%	20.0%
2か月	40 (12)	10.2%	61.9%	5 (1)	8.3%	28.3%
3か月	23 (7)	5.8%	67.8%	2 (0)	3.3%	31.7%
4か月	23 (4)	5.8%	73.6%	7 (1)	11.7%	43.3%
5か月	21 (5)	5.3%	78.9%	4 (0)	6.7%	50.0%
6か月	20 (4)	5.1%	84.0%	3 (0)	5.0%	55.0%
7か月	17 (4)	4.3%	88.3%	9 (0)	15.0%	70.0%
8か月	10 (2)	2.5%	90.9%	7 (0)	11.7%	81.7%
9か月	11 (0)	2.8%	93.7%	5 (0)	8.3%	90.0%
10か月	11 (3)	2.8%	96.4%	2 (0)	3.3%	93.3%
11か月	13 (2)	3.3%	99.7%	4 (1)	6.7%	100.0%
月齢不明	1 (0)	0.3%	100.0%	0 (0)	0.0%	100.0%
計	394 (74)	100.0%		60 (3)	100.0%	

(3) 虐待の種類と加害の状況

① 死因となった主な虐待の種類

ア 死因となった主な虐待の種類

こどもの死因となった虐待の種類について、心中以外の虐待死事例においては、「身体的虐待」が 21 人（42.0%）、「ネグレクト」が 14 人（28.0%）であった。また、本報告から保護者が見ていないときに窓やベランダ等からの転落によって死亡した事例については、「ネグレクト」に分類し集計している。「ネグレクト」のうち「転落死」は 6 人（12.0%）であった。

表 6 死因となった主な虐待の種類（心中以外の虐待死）

区分	第1次から第18次まで			第19次			総数(第1次から第19次まで)		
	人数	構成割合	有効割合 注4)	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
身体的虐待	555 (31)	59.1%	66.2%	21 (2)	42.0%	60.0%	576 (33)	58.2%	66.0%
ネグレクト	280 (45)	29.8%	33.4%	14 (8)	28.0%	40.0%	294 (53)	29.7%	33.7%
心理的虐待	2 (1)	0.2%	0.2%	0 (0)	0.0%	0.0%	2 (1)	0.2%	0.2%
性的虐待 ※1	—	—	—	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
その他 ※2	1 (0)	0.1%	0.1%	—	—	—	1 (0)	0.1%	0.1%
小計	838 (77)	89.2%	100.0%	35 (10)	70.0%	100.0%	873 (87)	88.3%	100.0%
不明	101 (44)	10.8%	—	15 (11)	30.0%	—	116 (55)	11.7%	—
計	939 (121)	100.0%	—	50 (21)	100.0%	—	989 (142)	100.0%	—

※1 第18次報告までは「その他」としていたが、第19次報告からは「性的虐待」と項目名を変更した。

※2 第1次報告から第18次報告までの累計母数は 939 人

表 7 死因となった主な虐待の種類「ネグレクト」のうち「転落死」した人数（心中以外の虐待死）

	人数
転落死	6(5)

【参考事例】

<死因となった主な虐待の種類がネグレクトの事例>

○0歳男児（実母が出産後遺棄）

実母が自宅で出産した本児を放置し遺棄。本児は裸でビニール袋に入れられている状態で発見された。

<転落死の事例>

○3歳男児（ネグレクトによる転落で死亡）

3階の部屋から地面に転落。転落した部屋の窓のそばに布団が積みれ、転落直前に本児がよじ登っている姿を目撃されていた。

注4) 「有効割合」とは、「不明」「未記入」とした回答を除いた数を合計数として算出した割合をいう。(以下、同様の取扱いとする。)

② 直接の死因

ア 直接の死因

こどもの直接の死因について、心中以外の虐待死事例では、「頭部外傷」が11人（有効割合 28.9%）、「その他」が7人（同 18.4%）、「頸部絞扼以外による窒息」が6人（同 15.8%）と多く、心中による虐待死事例では、「出血性ショック」が6人（同 26.1%）と最も多かった。

表 8 直接の死因（心中以外の虐待死）

区分	第5次から第18次まで			第19次			総数(第5次から第19次まで)		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
頭部外傷	148(17)	19.8%	25.1%	11(1)	22.0%	28.9%	159(18)	19.9%	25.4%
胸部外傷	6(0)	0.8%	1.0%	0(0)	0.0%	0.0%	6(0)	0.8%	1.0%
腹部外傷	18(3)	2.4%	3.1%	1(1)	2.0%	2.6%	19(4)	2.4%	3.0%
外傷性ショック	11(1)	1.5%	1.9%	2(0)	4.0%	5.3%	13(1)	1.6%	2.1%
頸部絞扼による窒息	63(0)	8.4%	10.7%	2(0)	4.0%	5.3%	65(0)	8.2%	10.4%
頸部絞扼以外による窒息	88(7)	11.8%	14.9%	6(2)	12.0%	15.8%	94(9)	11.8%	15.0%
溺水	37(3)	5.0%	6.3%	3(0)	6.0%	7.9%	40(3)	5.0%	6.4%
熱傷	1(0)	0.1%	0.2%	1(0)	2.0%	2.6%	2(0)	0.3%	0.3%
車中放置による熱中症・脱水	20(1)	2.7%	3.4%	1(0)	2.0%	2.6%	21(1)	2.6%	3.3%
中毒(火災によるものを除く)	2(1)	0.3%	0.3%	0(0)	0.0%	0.0%	2(1)	0.3%	0.3%
出血性ショック	14(2)	1.9%	2.4%	0(0)	0.0%	0.0%	14(2)	1.8%	2.2%
低栄養による衰弱	30(2)	4.0%	5.1%	0(0)	0.0%	0.0%	30(2)	3.8%	4.8%
脱水	2(0)	0.3%	0.3%	0(0)	0.0%	0.0%	2(0)	0.3%	0.3%
凍死	2(0)	0.3%	0.3%	0(0)	0.0%	0.0%	2(0)	0.3%	0.3%
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	40(1)	5.4%	6.8%	0(0)	0.0%	0.0%	40(1)	5.0%	6.4%
病死	13(5)	1.7%	2.2%	0(0)	0.0%	0.0%	13(5)	1.6%	2.1%
転落死 ※1	—	—	—	4(3)	8.0%	10.5%	4(3)	8.0%	10.5%
自死 ※1	—	—	—	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
その他	94(29)	12.6%	16.0%	7(5)	14.0%	18.4%	101(34)	12.7%	16.1%
小計	589(72)	78.8%	100.0%	38(12)	76.0%	100.0%	627(84)	78.7%	100.0%
不明	158(49)	21.2%	—	12(9)	24.0%	—	170(58)	21.3%	—
計	747(121)	100.0%	—	50(21)	100.0%	—	797(142)	100.0%	—

※1 第19次報告より追加した項目

表9 直接の死因（心中による虐待死）

区分	第5次から第18次まで			第19次			総数(第5次から第19次まで)		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
頭部外傷	17(0)	3.5%	3.8%	1(0)	4.2%	4.3%	18(0)	3.5%	3.8%
胸部外傷	11(0)	2.2%	2.5%	0(0)	0.0%	0.0%	11(0)	2.1%	2.3%
腹部外傷	7(0)	1.4%	1.6%	0(0)	0.0%	0.0%	7(0)	1.4%	1.5%
外傷性ショック	9(0)	1.8%	2.0%	0(0)	0.0%	0.0%	9(0)	1.7%	1.9%
頸部絞扼による窒息	139(2)	28.3%	31.1%	5(0)	20.8%	21.7%	144(2)	27.9%	30.6%
頸部絞扼以外による窒息	7(0)	1.4%	1.6%	0(0)	0.0%	0.0%	7(0)	1.4%	1.5%
溺水	51(2)	10.4%	11.4%	4(0)	16.7%	17.4%	55(2)	10.7%	11.7%
熱傷	1(0)	0.2%	0.2%	0(0)	0.0%	0.0%	1(0)	0.2%	0.2%
車中放置による熱中症・脱水	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
中毒(火災によるものを除く)	78(0)	15.9%	17.4%	2(0)	8.3%	8.7%	80(0)	15.5%	17.0%
出血性ショック	31(1)	6.3%	6.9%	6(0)	25.0%	26.1%	37(1)	7.2%	7.9%
低栄養による衰弱	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
脱水	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
凍死	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	60(0)	12.2%	13.4%	2(0)	8.3%	8.7%	62(0)	12.0%	13.2%
病死	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
転落死 ※1	-	-	-	2(0)	8.3%	8.7%	2(0)	8.3%	8.7%
自死 ※1	-	-	-	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
その他	36(2)	7.3%	8.1%	1(0)	4.2%	4.3%	37(2)	7.2%	7.9%
小計	447(7)	90.9%	100.0%	23(0)	95.8%	100.0%	470(7)	91.1%	100.0%
不明	45(5)	9.1%		1(0)	4.2%		46(5)	8.9%	
計	492(12)	100.0%	-	24(0)	100.0%	-	516(12)	100.0%	-

※1 第19次報告より追加した項目

【参考事例】

<車中放置による熱中症・脱水により死亡した事例>

○1歳女児（実母によるネグレクトで死亡）

実母が自宅前の駐車場に駐車した車の中に本児を約30分間置き去りにし、熱中症の疑いで死亡。

イ AHT（虐待による乳幼児頭部外傷）（疑いを含む）の医師による診断の有無

AHT（虐待による乳幼児頭部外傷）（疑いを含む）の医師による診断は、心中以外の虐待死事例では「あり」が7人（有効割合 20.0%）、心中による虐待死事例では「あり」が0人であった。

なお、第18次報告までは、直接の死因が「頭部外傷」のうち乳幼児揺さぶられ症候群（SBS）（疑い含む）の有無を調査していたが、第19次報告においては、直接の死因に関わらず医師によるAHT（虐待による乳幼児頭部外傷）（疑いを含む）の診断の有無を調査した。

表10 AHT（虐待による乳幼児頭部外傷）（疑いを含む）の医師による診断の有無

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂を含む)		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
なし	28(11)	56.0%	80.0%	18(0)	75.0%	100.0%
あり	7(1)	14.0%	20.0%	0(0)	0.0%	0.0%
小計	35(12)	70.0%	100.0%	18(0)	75.0%	100.0%
不明	15(9)	30.0%		6(0)	25.0%	
計	50(21)	100.0%	—	24(0)	100.0%	—

【参考事例】

<医師によるAHT（虐待による乳幼児頭部外傷）（疑いを含む）の診断があった事例>

○0歳女児（実父による身体的虐待で死亡）

実父は本児が泣き止まなかったことに腹を立て頭部を殴打し、頭蓋骨骨折等による脳障害で死亡。

○0歳女児（実母による身体的虐待で死亡）

本児は頭部に強い衝撃を受け、急性硬膜下血腫などにより死亡。

【参考】乳幼児揺さぶられ症候群（SBS）^{注5)}の有無（第5次～第18次）

表 11 直接の死因「頭部外傷」のうち乳幼児揺さぶられ症候群（SBS）（疑い含む）の有無

（心中以外の虐待死）

区分	第5次から第18次まで		
	人数	構成割合	有効割合
なし	32 (6)	21.6%	48.5%
あり	34 (8)	23.0%	51.5%
不明	82 (3)	55.4%	
計	148 (17)	100.0%	

表 12 乳幼児揺さぶられ症候群（SBS）（疑い含む）の具体的事例（年齢順）（第11次～第18次）

年次報告	年齢(月齢)	主たる虐待者	加害の動機	以前の虐待行為
15次	1か月	実父	不明	なし
17次	1か月	実母	泣きやまないことにいらだったため	なし
11次	2か月	実父	不明	なし
11次	2か月	実父	泣きやまないことにいらだったため	なし
13次	2か月	実父	泣きやまないことにいらだったため	なし
15次	2か月	実母	泣きやまないことにいらだったため	なし
16次	2か月	実父	泣きやまないことにいらだったため	なし
15次	3か月	実父	泣きやまないことにいらだったため	なし
18次	3か月	実母	不明	なし
11次	5か月	実母	泣きやまないことにいらだったため	なし
12次	5か月	実父	その他(入浴中ぐったりしたため)	あり(身体的虐待)
14次	5か月	実母の交際相手	不明	不明
15次	5か月	実父	子どもがミルクを飲まず養育にストレスあり	なし
12次	5か月	不明	不明	なし
12次	6か月	実母	その他(パートナー等の支援なく、児の体調不良等う積した思い)	なし
14次	6か月	母方祖母	不明	なし
16次	6か月	実父	泣きやまないことにいらだったため	なし
14次	7か月	実母	不明	なし
13次	8か月	実父	泣きやまないことにいらだったため	あり(身体的虐待)
14次	9か月	実母	パートナーへの怒りを子どもに向ける	なし
16次	1歳1か月	継父	子どもがなつかない	なし
12次	1歳2か月	不明	不明	あり(身体的虐待)
11次	1歳2か月	実父	泣きやまないことにいらだったため	なし
15次	1歳5か月	実母、実父	子どもの存在の拒否・否定	あり(身体的虐待)
13次	1歳7か月	実父	不明	なし
13次	1歳11か月	実母の交際相手	母の交際相手が保育所へお迎えに行った際、本児が泣くという報告あり	あり(身体的虐待)
18次	2歳0か月	実父	泣きやまないことにいらだったため	あり
11次	2歳3か月	実父	不明	あり(身体的虐待)
16次	2歳4か月	継父	不明	なし
11次	2歳13か月	実母の交際相手	しつけのつもり	あり(身体的虐待)
14次	5歳11か月	実母、養父	しつけのつもり	あり(身体的虐待、ネグレクト)
17次	6歳0か月	父親の知人の男性	不明	なし

注5) 乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)は子どもの頭部が揺さぶられることによって生じる頭部外傷であり、虐待による乳幼児頭部外傷(AHT)に含まれる。

③ 主たる加害者

ア 心中以外の虐待死における主たる加害者

主たる加害者について、心中以外の虐待死事例では、「実母」が 20 人 (40.0%) と最も多く、次いで「不明」が 12 人 (24.0%) であった。

第 1 次報告から第 19 次報告までの傾向をみると、加害者が「実母」である場合が全体の半数程度を占めて最も多い。

表 13 主たる加害者 (心中以外の虐待死)

区分	第 1 次から第 18 次まで		第 19 次		総数 (第 1 次から第 19 次まで)		
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	
実母	513 (53)	54.6%	20 (6)	40.0%	533 (59)	53.9%	
実父	144 (10)	15.3%	6 (2)	12.0%	150 (12)	15.2%	
養母	2 (0)	0.2%	0 (0)	0.0%	2 (0)	0.2%	
養父	9 (0)	1.0%	0 (0)	0.0%	9 (0)	0.9%	
継母	6 (0)	0.6%	0 (0)	0.0%	6 (0)	0.6%	
継父	13 (1)	1.4%	0 (0)	0.0%	13 (1)	1.3%	
実母の交際相手	40 (4)	4.3%	0 (0)	0.0%	40 (4)	4.0%	
母方祖母	7 (0)	0.7%	0 (0)	0.0%	7 (0)	0.7%	
母方祖父	1 (0)	0.1%	0 (0)	0.0%	1 (0)	0.1%	
父方祖母	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%	
父方祖父	1 (0)	0.1%	0 (0)	0.0%	1 (0)	0.1%	
実母と	実父	79 (18)	8.4%	3 (2)	6.0%	82 (20)	8.3%
	養父	12 (1)	1.3%	0 (0)	0.0%	12 (1)	1.2%
	継父	3 (0)	0.3%	0 (0)	0.0%	3 (0)	0.3%
	実母の交際相手	21 (1)	2.2%	2 (0)	4.0%	23 (1)	2.3%
	母方祖母	0 (0)	0.0%	1 (1)	2.0%	1 (1)	0.1%
	母方祖父母	1 (0)	0.1%	0 (0)	0.0%	1 (0)	0.1%
	実父と父方祖母	0 (0)	0.0%	1 (0)	2.0%	1 (0)	0.1%
	実父とその他	0 (0)	0.0%	1 (0)	2.0%	1 (0)	0.1%
	実母の交際相手とその他	2 (0)	0.2%	0 (0)	0.0%	2 (0)	0.2%
	その他	5 (2)	0.5%	1 (1)	2.0%	6 (3)	0.6%
実父とその他	1 (0)	0.1%	0 (0)	0.0%	1 (0)	0.1%	
その他	23 (4)	2.4%	3 (3)	6.0%	26 (7)	2.6%	
不明	55 (26)	5.9%	12 (6)	24.0%	67 (32)	6.8%	
計	939 (121)	100.0%	50 (21)	100.0%	989 (142)	100.0%	

イ 心中による虐待死における主たる加害者

主たる加害者について、心中による虐待死事例では、「実母」が最も多く18人(75.0%)であった。

第2次報告から第19次報告までの傾向をみると、加害者が「実母」である事例が全体の約7割を占めて最も多い。

表14 主たる加害者(心中による虐待死)

区分	第2次から第18次まで		第19次		総数 (第2次から第19次まで)		
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	
実母	409(5)	68.7%	18(0)	75.0%	427(5)	69.0%	
実父	111(2)	18.7%	4(0)	16.7%	115(2)	18.6%	
養母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
養父	2(0)	0.3%	0(0)	0.0%	2(0)	0.3%	
継母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
継父	1(0)	0.2%	0(0)	0.0%	1(0)	0.2%	
実母の交際相手	4(3)	0.7%	0(0)	0.0%	4(3)	0.6%	
母方祖母	6(0)	1.0%	0(0)	0.0%	6(0)	1.0%	
母方祖父	5(0)	0.8%	0(0)	0.0%	5(0)	0.8%	
父方祖母	5(0)	0.8%	0(0)	0.0%	5(0)	0.8%	
父方祖父	1(0)	0.2%	0(0)	0.0%	1(0)	0.2%	
実母と	実父	24(0)	4.0%	1(0)	4.2%	25(0)	4.0%
	養父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	継父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	実母の交際相手	2(0)	0.3%	0(0)	0.0%	2(0)	0.3%
	母方祖母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	母方祖父母	4(0)	0.7%	0(0)	0.0%	4(0)	0.6%
	実父と父方祖母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	実父とその他	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	実母の交際相手とその他	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	その他	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
実父とその他	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
その他	3(0)	0.5%	0(0)	0.0%	3(0)	0.5%	
不明	18(2)	3.0%	1(0)	4.2%	19(2)	3.1%	
計	595(12)	100.0%	24(0)	100.0%	619(12)	100.0%	

ウ 心中以外の虐待死事例における主たる加害者とこどもの年齢

心中以外の虐待死事例における主たる加害者とこどもの年齢について、心中以外の虐待死事例では、どの年齢においても加害者は「実母」が比較的多い。「1か月～1歳未満」児の事例では「実父」4人（22.2%）、「実母と実父」2人（11.1%）となっている。

表 15 主たる加害者と死亡したこどもの年齢（心中以外の虐待死）

区分	死亡した児童の年齢												
	0日		1日～1か月未満		1か月～1歳未満		1歳以上～3歳未満		3歳以上		不明		
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	
実母	2(0)	66.7%	2(1)	100.0%	6(1)	33.3%	4(2)	50.0%	3(1)	20.0%	3(1)	75.0%	
実父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	4(1)	22.2%	1(0)	12.5%	1(1)	6.7%	0(0)	0.0%	
養母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
養父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
継母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
継父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
実母の交際相手	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
実父の交際相手	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
母方祖母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
父方祖母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
母方祖父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
父方祖父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
その他	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	1(1)	5.6%	0(0)	0.0%	2(2)	13.3%	0(0)	0.0%	
実母と	実父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	2(2)	11.1%	0(0)	0.0%	1(0)	6.7%	0(0)	0.0%
	実父と父方祖母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	1(0)	6.7%	0(0)	0.0%
	実父とその他	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	1(0)	6.7%	0(0)	0.0%
	実母の交際相手	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	2(0)	13.3%	0(0)	0.0%
	母方祖母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	1(1)	12.5%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	その他	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	1(1)	6.7%	0(0)	0.0%
小計	2(0)	66.7%	2(1)	100.0%	13(5)	72.2%	6(3)	75.0%	12(5)	80.0%	3(1)	75.0%	
不明	1(0)	33.3%	0(0)	0.0%	5(4)	27.8%	2(1)	25.0%	3(1)	20.0%	1(0)	25.0%	
計	3(0)	100.0%	2(1)	100.0%	18(9)	100.0%	8(4)	100.0%	15(6)	100.0%	4(1)	100.0%	

エ 心中による虐待死事例における主たる加害者とこどもの年齢

心中による虐待死事例における主たる加害者とこどもの年齢について、該当者のいない「1 か月未満」を除き、死亡したこどもの年齢すべてにおいて「実母」が加害者である事例が最も多く、次いで「実父」、「実母と実父」であった。

表 16 主たる加害者と死亡したこどもの年齢（心中による虐待死）

区分	死亡した児童の年齢												
	1か月未満		1か月～1歳未満		1歳以上～3歳未満		3歳以上～6歳未満		6歳以上		不明		
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	
実母	0(0)	0.0%	1(0)	50.0%	4(0)	57.1%	6(0)	100.0%	7(0)	77.8%	0(0)	0.0%	
実父	0(0)	0.0%	1(0)	50.0%	1(0)	14.3%	0(0)	0.0%	2(0)	22.2%	0(0)	0.0%	
養母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
養父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
継母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
継父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
実母の交際相手	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
実父の交際相手	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
母方祖母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
父方祖母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
母方祖父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
父方祖父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
その他	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
実母と	実父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	1(0)	14.3%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	実父と父方祖母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	実父とその他	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	実母の交際相手	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	母方祖母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	その他	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
小計	0(0)	0.0%	2(0)	100.0%	6(0)	85.7%	6(0)	100.0%	9(0)	100.0%	0(0)	0.0%	
不明	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	1(0)	14.3%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
計	0(0)	0.0%	2(0)	100.0%	7(0)	100.0%	6(0)	100.0%	9(0)	100.0%	0(0)	0.0%	

オ 心中以外の虐待死事例における死因となった主な虐待の種類別にみた主たる加害者

心中以外の虐待死事例における死因となった主な虐待の種類別にみた主たる加害者について、「実母」が「身体的虐待」では約4割、「ネグレクト」では5割を占めた。

表 17 死因となった主な虐待の種類と主たる加害者（心中以外の虐待死）

区分	身体的虐待		ネグレクト		心理的虐待		性的虐待		不明		
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	
実母	8(0)	38.1%	7(3)	50.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	5(3)	33.3%	
実父	4(0)	19.0%	1(1)	7.1%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	1(1)	6.7%	
養母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
養父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
継母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
継父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
実母の交際相手	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
実父の交際相手	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
母方祖母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
父方祖母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
母方祖父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
父方祖父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	
その他	0(0)	0.0%	2(2)	14.3%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	1(1)	6.7%	
実母と	実父	1(0)	4.8%	1(1)	7.1%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	1(1)	6.7%
	実父と父方祖母	1(0)	4.8%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	実父とその他	1(0)	4.8%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	実母の交際相手	2(0)	9.5%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	母方祖母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	1(1)	6.7%
	その他	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	1(1)	6.7%
小計	17(0)	81.0%	11(7)	78.6%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	10(8)	66.7%	
不明	4(2)	19.0%	3(1)	21.4%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	5(3)	33.3%	
計	21(2)	100.0%	14(8)	100.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	15(11)	100.0%	

④ 加害の動機

ア 心中以外の虐待死における加害の動機

心中以外の虐待死事例における加害の動機について、動機が「不明」「その他」である場合を除き、「しつけのつもり」が2人（4.0%）であった。

表 18 加害の動機（心中以外の虐待死）

区分	第2次から第18次まで		第19次		総数(第2次から第19次まで)	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
しつけのつもり	94 (6)	10.3%	2 (1)	4.0%	96 (7)	10.0%
こどもがなつかない	15 (1)	1.6%	0 (0)	0.0%	15 (1)	1.6%
パートナーへの愛情を独占されたなど、こどもに対する嫉妬心	5 (0)	0.5%	0 (0)	0.0%	5 (0)	0.5%
パートナーへの怒りをこどもに向ける	10 (1)	1.1%	1 (0)	2.0%	11 (1)	1.1%
慢性の疾患や障害の苦しみからこどもを救おうという主観的意図	5 (0)	0.5%	1 (0)	2.0%	6 (0)	0.6%
こどもの暴力などから身を守るため	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
MSBP(代理ミュンヒハウゼン症候群)	4 (0)	0.4%	0 (0)	0.0%	4 (0)	0.4%
保護を怠ったことによる死亡 ※1	131 (12)	15.1%	-	-	131 (12)	15.1%
こどもの世話・養育方法がわからない ※2	2 (0)	4.1%	1 (0)	2.0%	3 (0)	3.0%
こどもの世話・養育をする余裕がない ※2	5 (1)	10.2%	1 (0)	2.0%	6 (1)	6.1%
こどもの存在の拒否・否定	80 (4)	8.8%	0 (0)	0.0%	80 (4)	8.3%
泣きやまないことにはらだつたため	75 (1)	8.2%	1 (0)	2.0%	76 (1)	7.9%
アルコール又は薬物依存に起因した精神症状による行為	3 (1)	0.3%	0 (0)	0.0%	3 (1)	0.3%
依存系以外に起因した精神症状による行為(妄想などによる)	43 (0)	4.7%	1 (1)	2.0%	44 (1)	4.6%
その他	128 (17)	14.0%	13 (7)	26.0%	141 (24)	14.6%
不明	314 (77)	34.4%	29 (12)	58.0%	343 (89)	35.6%
計	914 (121)	100.0%	50 (21)	100.0%	964 (142)	100.0%

※1 第2次報告から第17次報告までの調査。累計母数は865人

※2 第18次報告から調査。累計母数は99人

イ 心中による虐待死事例における加害の動機

心中による虐待死事例における加害の動機について、「保護者自身の精神疾患、精神不安」が9人（37.5%）と最も多く、次いで「育児不安や育児負担感」「夫婦間のトラブルなど家庭に不和」がともに4人（16.7%）であった。

表 19 加害の動機（心中による虐待死）（複数回答）

区分	心中による虐待死(未遂含む)(24人)	
	人数	構成割合
こどもの病気・障害	2(0)	8.3%
保護者自身の精神疾患、精神不安	9(0)	37.5%
保護者自身の病気(精神疾患を除く)・障害等	0(0)	0.0%
経済的困窮(多額の借金など)	0(0)	0.0%
育児不安や育児負担感	4(0)	16.7%
夫婦間のトラブルなど家庭に不和	4(0)	16.7%
その他	3(0)	12.5%
不明	11(0)	45.8%

(4) 死亡したこどもの生育歴

① 妊娠期・周産期における問題

ア 妊娠期・周産期の母体側の問題

妊娠期・周産期の母体側の問題について、心中以外の虐待死事例では、「予期しない妊娠／計画していない妊娠」と「医療機関から連絡」がともに16人(32.0%)、次いで「妊婦健康診査未受診」と「低体重(2500g未満)」がともに14人(28.0%)であった。

第3次報告から第19次報告までの総数でみると、「予期しない妊娠／計画していない妊娠」「妊婦健康診査未受診」「妊娠届の未提出(母子健康手帳の未交付)」「若年(10代)妊娠」が、多くなっている。

特に、「若年(10代)妊娠」についてみると、我が国における全出生数のうち母親の年齢が若年(10代)の割合は約1%前後で推移^{注6)}している。一方で、第3次報告から第19次報告までの心中以外の虐待死事例における「若年(10代)妊娠」の割合は16.7%であり、その割合の高さは顕著である。

また、心中による虐待死事例では、「予期しない妊娠／計画していない妊娠」が5人(20.8%)、「切迫流産・切迫早産」と「低体重(2500g未満)」がともに4人(16.7%)であった。

^{注6)} 平成20年から令和3年までの厚生労働省人口動態統計による。

表 20 妊娠期・周産期の問題 (心中以外の虐待死) (複数回答)

区分		第3次から第18次まで (864人)	第19次(50人)	総数(第3次から第19次まで) (914人)
切迫流産・切迫早産	人数	65 (15)	9 (4)	74 (19)
	構成割合	7.5%	18.0%	8.1%
妊娠高血圧症候群	人数	26 (4)	2 (1)	28 (5)
	構成割合	3.0%	4.0%	3.1%
喫煙の常習	人数	80 (14)	7 (2)	87 (16)
	構成割合	9.3%	14.0%	9.5%
アルコールの常習	人数	31 (2)	3 (2)	34 (4)
	構成割合	3.6%	6.0%	3.7%
違法薬物の使用/薬物の過剰摂取等※1	人数	3 (3)	0 (0)	3 (3)
	構成割合	0.8%	0.0%	0.7%
マタニティブルーズ	人数	27 (6)	0 (0)	27 (6)
	構成割合	3.1%	0.0%	3.0%
予期しない妊娠/計画していない妊娠	人数	239 (43)	16 (7)	255 (50)
	構成割合	27.7%	32.0%	27.9%
若年(10代)妊娠	人数	146 (22)	7 (2)	153 (24)
	構成割合	16.9%	14.0%	16.7%
お腹をたたく等の墮胎行為※1	人数	3 (0)	2 (2)	5 (2)
	構成割合	0.8%	4.0%	1.2%
妊娠届の未提出(母子健康手帳の未交付)	人数	178 (29)	9 (2)	187 (31)
	構成割合	20.6%	18.0%	20.5%
妊婦健康診査未受診	人数	235 (46)	14 (4)	249 (50)
	構成割合	27.2%	28.0%	27.2%
胎児虐待 ※2	人数	27	-	27
	構成割合	5.3%	-	5.3%
その他(妊娠期の母体側の問題) ※3	人数	41 (17)	6 (4)	47 (21)
	構成割合	8.2%	12.0%	8.5%
自宅分娩(助産師などの立ち会いなし) ※4	人数	84 (25)	2 (0)	86 (25)
	構成割合	21.4%	4.0%	19.4%
遺棄 ※4	人数	113 (36)	7 (1)	120 (37)
	構成割合	28.8%	14.0%	27.1%
墜落分娩	人数	90 (16)	2 (1)	92 (17)
	構成割合	10.4%	4.0%	10.1%
飛び込み出産 ※4	人数	6 (1)	0 (0)	6 (1)
	構成割合	1.5%	0.0%	1.4%
陣痛が微弱であった ※5	人数	6	-	6
	構成割合	1.3%	-	1.3%
帝王切開	人数	99 (16)	9 (5)	108 (21)
	構成割合	11.5%	18.0%	11.8%
救急車で来院 ※6	人数	7	-	7
	構成割合	6.4%	-	6.4%
医療機関から連絡 ※7	人数	63 (23)	16 (7)	79 (30)
	構成割合	12.5%	32.0%	14.3%
その他(周産期の母体側の問題) ※3	人数	23 (8)	4 (3)	27 (11)
	構成割合	4.6%	8.0%	4.9%
本児を妊娠時の特定妊婦としての支援有 ※8	人数	11 (0)	13 (7)	24 (7)
	構成割合	22.4%	26.0%	24.2%
低体重(2500g未満)	人数	107 (22)	14 (6)	121 (28)
	構成割合	12.4%	28.0%	13.2%
多胎	人数	23 (3)	2 (1)	25 (4)
	構成割合	2.7%	4.0%	2.7%
新生児仮死	人数	20 (4)	0 (0)	20 (4)
	構成割合	2.3%	0.0%	2.2%
その他の疾患・障害 ※9	人数	50 (13)	4 (3)	54 (16)
	構成割合	6.2%	8.0%	6.3%
出生時の退院の遅れによる母子分離	人数	68 (19)	9 (3)	77 (22)
	構成割合	7.9%	18.0%	8.4%
NICU入院	人数	55 (12)	8 (2)	63 (14)
	構成割合	6.4%	16.0%	6.9%

※1 第12次報告から調査。累計母数は407人

※3 第9次報告から調査。累計母数は552人

※5 第3次報告から第10次報告まで調査。累計母数は471人

※7 第9次報告から調査。累計母数は552人

※9 第4次報告から調査。累計母数は858人

※2 第3次報告から第11次報告まで調査。累計母数は507人

※4 第11次報告から調査。累計母数は443人

※6 第9次報告から第10次報告まで調査。累計母数は109人

※8 第18次報告から調査。累計母数は99人

表 21 妊娠期・周産期の問題 (心中による虐待死) (複数回答)

区分		第3次から第18次まで (587人)	第19次(24人)	総数(第3次から第19次まで) (611人)
切迫流産・切迫早産	人数	36 (0)	4 (0)	40 (0)
	構成割合	6.1%	16.7%	6.5%
妊娠高血圧症候群	人数	15 (0)	0 (0)	15 (0)
	構成割合	2.6%	0.0%	2.5%
喫煙の常習	人数	22 (0)	0 (0)	22 (0)
	構成割合	3.7%	0.0%	3.6%
アルコールの常習	人数	4 (0)	0 (0)	4 (0)
	構成割合	0.7%	0.0%	0.7%
違法薬物の使用/薬物の過剰摂取等※1	人数	3 (0)	0 (0)	3 (0)
	構成割合	1.8%	0.0%	1.6%
マタニティブルーズ	人数	17 (0)	1 (0)	18 (0)
	構成割合	2.9%	4.2%	2.9%
予期しない妊娠/計画していない妊娠	人数	23 (0)	5 (0)	28 (0)
	構成割合	3.9%	20.8%	4.6%
若年(10代)妊娠	人数	15 (0)	0 (0)	15 (0)
	構成割合	2.6%	0.0%	2.5%
お腹をたたく等の墮胎行為※1	人数	3 (0)	0 (0)	3 (0)
	構成割合	1.8%	0.0%	1.6%
妊娠届の未提出(母子健康手帳の未交付)	人数	7 (0)	0 (0)	7 (0)
	構成割合	1.2%	0.0%	1.1%
妊婦健康診査未受診	人数	18 (1)	3 (0)	21 (0)
	構成割合	3.1%	12.5%	3.4%
胎児虐待 ※2	人数	0	-	0
	構成割合	0.0%	-	0.0%
その他(妊娠期の母体側の問題) ※3	人数	13 (0)	3 (0)	16 (0)
	構成割合	4.6%	12.5%	5.2%
自宅分娩(助産師などの立ち会いなし) ※4	人数	6 (0)	0 (0)	6 (0)
	構成割合	3.0%	0.0%	2.7%
遺棄 ※4	人数	1 (0)	0 (0)	1 (0)
	構成割合	0.5%	0.0%	0.4%
墜落分娩	人数	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	構成割合	0.0%	0.0%	0.0%
飛び込み出産 ※4	人数	2 (0)	0 (0)	2 (0)
	構成割合	1.0%	0.0%	0.9%
陣痛が微弱であった ※5	人数	4	-	4
	構成割合	1.0%	-	1.0%
帝王切開	人数	54 (1)	0 (0)	54 (0)
	構成割合	9.2%	0.0%	8.8%
救急車で来院 ※6	人数	0	-	0
	構成割合	0.0%	-	0.0%
医療機関から連絡 ※7	人数	32 (3)	1 (0)	33 (0)
	構成割合	11.4%	4.2%	10.8%
その他(周産期の母体側の問題) ※3	人数	12 (0)	1 (0)	13 (0)
	構成割合	4.3%	4.2%	4.3%
本児を妊娠時の特定妊婦としての支援有 ※8	人数	2 (0)	1 (0)	3 (0)
	構成割合	7.1%	4.2%	5.8%
低体重(2500g未満)	人数	30 (0)	4 (0)	34 (0)
	構成割合	5.1%	16.7%	5.6%
多胎	人数	12 (0)	0 (0)	12 (0)
	構成割合	2.0%	0.0%	2.0%
新生児仮死	人数	4 (0)	0 (0)	4 (0)
	構成割合	0.7%	0.0%	0.7%
その他の疾患・障害 ※9	人数	25 (0)	1 (0)	26 (0)
	構成割合	4.5%	4.2%	4.5%
出生時の退院の遅れによる母子分離	人数	15 (0)	1 (0)	16 (0)
	構成割合	2.6%	4.2%	2.6%
NICU入院	人数	23 (0)	1 (0)	24 (0)
	構成割合	3.9%	4.2%	3.9%

※1 第12次報告から調査。累計母数は192人

※3 第9次報告から調査。累計母数は305人

※5 第3次報告から第10次報告まで調査。累計母数は386人

※7 第9次報告から調査。累計母数は305人

※9 第4次報告から調査。累計母数は581人

※2 第3次報告から第11次報告まで調査。累計母数は419人

※4 第11次報告から調査。累計母数は225人

※6 第9次報告から第10次報告まで調査。累計母数は80人

※8 第18次報告から調査。累計母数は52人

【参考事例】

＜予期しない妊娠／計画していない妊娠の事例＞

○0歳女児（死因は不明）

実母は自宅で本児を出産し、数日後に死亡した本児をバッグに入れ実家を訪問、実家の庭に遺棄。母子健康手帳は未発行で、母子保健担当部署等の関わりもなかった。

② 乳幼児健康診査及び予防接種

ア 乳幼児健康診査・予防接種の受診・接種の有無

乳幼児健康診査の受診状況について、心中以外の虐待死事例では、「3～4か月児健康診査」の未受診者が5人（有効割合 18.5%）、「1歳6か月児健康診査」の未受診者が2人（同 13.3%）、「3歳児健康診査」の未受診者はいなかった。予防接種の接種状況は、「1歳6か月児健康診査時点」で「一部、必要な予防接種が未接種である」が5人（同 38.5%）であった。

他方、心中による虐待死事例では、乳幼児健康診査の受診状況については、健康診査時点の該当者はみな受診している。予防接種の接種状況も「3～4か月児健康診査時点」で「一部、必要な予防接種が未接種である」の1人を除いて、該当者はみな「必要な予防接種は終了している（遅滞のある場合も含む）」となっている。

表 22 乳幼児健康診査の受診の有無

区分	心中以外の虐待死(50人)						心中による虐待死(未遂含む)(24人)					
	受診済み		未受診		年齢的に 非該当	不明	受診済み		未受診		年齢的に 非該当	不明
	人数	有効 割合	人数	有効 割合			人数	有効 割合	人数	有効 割合		
3～4か月児健康診査	22(12)	81.5%	5(2)	18.5%	18(6)	5(1)	23(0)	100.0%	0(0)	0.0%	0(0)	1(0)
1歳6か月児健康診査	13(8)	86.7%	2(0)	13.3%	32(13)	3(0)	20(0)	100.0%	0(0)	0.0%	3(0)	1(0)
3歳児健康診査	9(5)	100.0%	0(0)	0.0%	40(16)	1(0)	13(0)	100.0%	0(0)	0.0%	10(0)	1(0)

表 23 予防接種の有無

区分		心中以外の虐待死 (50人)		心中による虐待死 (未遂含む)(24人)	
		人数	有効割合	人数	有効割合
健康診査時点 3～4か月児	必要な予防接種は終了している(遅滞のある場合も含む)	22(8)	91.7%	18(0)	94.7%
	一部、必要な予防接種が未接種である	2(2)	8.3%	1(0)	5.3%
	年齢的に非該当	19(7)		0(0)	
	不明	7(4)		5(0)	
健康診査時点 1歳6か月児	必要な予防接種は終了している(遅滞のある場合も含む)	8(4)	61.5%	15(0)	100.0%
	一部、必要な予防接種が未接種である	5(3)	38.5%	0(0)	0.0%
	年齢的に非該当	33(13)		3(0)	
	不明	4(1)		6(0)	
健康診査時点 3歳児	必要な予防接種は終了している(遅滞のある場合も含む)	5(2)	62.5%	9(0)	100.0%
	一部、必要な予防接種が未接種である	3(2)	37.5%	0(0)	0.0%
	年齢的に非該当	39(16)		10(0)	
	不明	3(1)		5(0)	

イ 乳幼児健康診査未受診者への対応

表 24 乳幼児健康診査の未受診者への対応（複数回答）

3～4か月児健康診査未受診の対応ありの場合		心中以外の虐待死(4人)		心中による虐待死(未遂含む)(0人)	
		人数	構成割合	人数	構成割合
未受診の対応あり		4(1)		0(0)	
文書による受診勧奨		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
電話による受診勧奨		1(0)	25.0%	0(0)	0.0%
家庭訪問による受診勧奨		2(1)	50.0%	0(0)	0.0%
その他		1(0)	25.0%	0(0)	0.0%
その後の受診の有無または確認の有無	なし	2(0)	50.0%	0(0)	0.0%
	あり	2(1)	50.0%	0(0)	0.0%
1歳6か月児健康診査未受診の対応ありの場合		心中以外の虐待死(1人)		心中による虐待死(未遂含む)(0人)	
		人数	構成割合	人数	構成割合
未受診の対応あり		1(0)		0(0)	
文書による受診勧奨		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
電話による受診勧奨		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
家庭訪問による受診勧奨		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
その他		1(0)	100.0%	0(0)	0.0%
その後の受診の有無または確認の有無	なし	1(0)	100.0%	0(0)	0.0%
	あり	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
3歳児健康診査未受診の対応ありの場合		心中以外の虐待死(0人)		心中による虐待死(未遂含む)(0人)	
		人数	構成割合	人数	構成割合
未受診の対応あり		0(0)		0(0)	
文書による受診勧奨		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
電話による受診勧奨		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
家庭訪問による受診勧奨		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
その他		0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
その後の受診の有無または確認の有無	なし	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	あり	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%

③ こどもの疾患・障害等

ア こどもの疾患・障害等の有無等

こどもの疾患・障害等について、心中以外の虐待死事例では、「身体疾患」がある事例が5人（10.0%）で多く、次いで「発達の問題（発達障害、自閉症など）」がある事例が4人（8.0%）であった。心中による虐待死事例では、「障害」がある事例が2人（8.3%）、「発達の問題（発達障害、自閉症など）」がある事例1人（4.2%）であった。

表 25 こどもの疾患・障害等の有無等（複数回答）

区分	心中以外の虐待死(50人)							
	あり		なし		不明		疑い	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
身体疾患	5(4)	10.0%	33(15)	66.0%	12(2)	24.0%	-	-
障害	2(1)	4.0%	35(17)	70.0%	13(3)	26.0%	-	-
発達の問題 (発達障害、自閉症など)	4(2)	8.0%	24(12)	48.0%	17(5)	34.0%	5(2)	10.0%
身体発育の問題 (極端な痩せ、身長が低いなど)	1(0)	2.0%	36(18)	72.0%	13(3)	26.0%	-	-

区分	心中による虐待死(未遂を含む)(24人)							
	あり		なし		不明		疑い	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
身体疾患	0(0)	0.0%	23(0)	95.8%	1(0)	4.2%	-	-
障害	2(0)	8.3%	19(0)	79.2%	3(0)	12.5%	-	-
発達の問題 (発達障害、自閉症など)	1(0)	4.2%	13(0)	54.2%	4(0)	16.7%	6(0)	25.0%
身体発育の問題 (極端な痩せ、身長が低いなど)	0(0)	0.0%	23(0)	95.8%	1(0)	4.2%	-	-

表 26 障害ありの場合の手帳の有無

区分			あり				なし	不明	
			人数	うち手帳あり	うち手帳なし	うち手帳不明			
心中以外の虐待死 (50人)	障害ありの内訳 (2人)	身体障害	人数	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	1(0)	0(0)
			構成割合	2.0%	0.0%	2.0%	0.0%	2.0%	0.0%
	知的障害	人数	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	
		構成割合	2.0%	2.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	
心中による虐待死 (未遂含む)(24人)	障害ありの内訳 (2人)	身体障害	人数	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)
			構成割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%
	知的障害	人数	2(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
		構成割合	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

イ 疾患・障害等があった子どもと関係機関の関与状況

疾患・障害等があった子どもに関与があった関係機関について、心中以外の虐待死事例では、身体疾患のある1人を除き、何らかの機関の関与があり、関与した関係機関には、「児童相談所」「市区町村（虐待対応担当部署）」「福祉事務所」「家庭児童相談室」「保健所」「市区町村の母子保健担当部署（保健センター等）」「養育機関・教育機関」「医療機関」「警察」などがあつた。

また、心中による虐待死事例においても、「児童相談所」「市区町村（虐待対応担当部署）」「福祉事務所」「家庭児童相談室」「市区町村の母子保健担当部署（保健センター等）」「養育機関・教育機関」「医療機関」「警察」などの関与があつた。

表 27 疾患・障害等があった子どもと関係機関の関与状況（複数回答）

区分	子どもの疾病・障害等									
	心中以外の虐待死				心中による虐待死(未遂含む)					
※1【 】内は疾患・障害等のある子どもの人数	身体疾患 【5人】	障害 (知的障害、 身体障害) 【2人】	発達の 問題 (発達障害、 自閉症 など) 【4人】	身体発育 の問題 (極端な瘦 せ、身長が 低いなど) 【1人】	身体疾患 【0人】	障害 (知的障害、 身体障害) 【2人】	発達の 問題 (発達障害、 自閉症 など) 【1人】	身体発育 の問題 (極端な瘦 せ、身長が 低いなど) 【0人】		
何らかの機関の関与があつた子どもの数 (人数)	4 (3)	2 (1)	4 (2)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)		
関与した 関係機関	児童相談所	2 (2)	2 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	
	市区町村(虐待対応担当部署)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	
	その他機関	4 (3)	2 (1)	4 (2)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	
	内訳 (複数 回答)	福祉事務所	2 (2)	2 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
		家庭児童相談室	1 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
		民生委員・児童委員	1 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		保健所	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
		市区町村の母子保健担当 部署(保健センター等)	3 (2)	2 (1)	4 (2)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
		養育機関・教育機関	1 (1)	2 (1)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
		医療機関	3 (2)	2 (1)	3 (1)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
		助産師(医療機関に勤務 する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		警察	1 (1)	2 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
婦人相談所		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
配偶者暴力相談支援センター	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		

④ こどもの情緒・行動上の問題

こどもの情緒・行動上の問題について、心中以外の事例では、問題「なし」が19人（有効割合61.3%）、「あり」が12人（同38.7%）であった。「あり」の内訳（複数回答）は、「その他」が5人（同16.1%）、次いで「衝動性」が4人（同12.9%）、「夜泣き」「多動」「指示に従わない」がそれぞれ3人（同9.7%）であった。

また、心中による虐待死事例では、問題「なし」「あり」ともに8人（同50.0%）であった。「あり」の内訳（複数回答）は、「その他」が3人（同18.8%）、次いで「多動」が2人（同12.5%）であった。

表 28 こどもの情緒・行動上の問題（複数回答）

区分		心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂含む)		
		人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
なし		19(11)	38.0%	61.3%	8(0)	33.3%	50.0%
あり		12(4)	24.0%	38.7%	8(0)	33.3%	50.0%
内訳 (再掲) (複数回答)	ミルクの飲みムラ	2(0)	4.0%	6.5%	0(0)	0.0%	0.0%
	激しい泣き	2(1)	4.0%	6.5%	1(0)	4.2%	6.3%
	夜泣き	3(2)	6.0%	9.7%	1(0)	4.2%	6.3%
	食事の拒否	1(1)	2.0%	3.2%	1(0)	4.2%	6.3%
	夜尿	2(2)	4.0%	6.5%	1(0)	4.2%	6.3%
	多動	3(0)	6.0%	9.7%	2(0)	8.3%	12.5%
	衝動性	4(1)	8.0%	12.9%	1(0)	4.2%	6.3%
	かんしゃく	2(1)	4.0%	6.5%	1(0)	4.2%	6.3%
	自傷行為	1(0)	2.0%	3.2%	0(0)	0.0%	0.0%
	性器いじり	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
	指示に従わない	3(1)	6.0%	9.7%	1(0)	4.2%	6.3%
	なつかない	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
	無表情、表情が乏しい	1(1)	2.0%	3.2%	0(0)	0.0%	0.0%
	固まってしまう	1(0)	2.0%	3.2%	0(0)	0.0%	0.0%
	盗癖	1(0)	2.0%	3.2%	0(0)	0.0%	0.0%
	虚言癖	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
	不登校	1(1)	2.0%	3.2%	0(0)	0.0%	0.0%
	その他	5(1)	10.0%	16.1%	3(0)	12.5%	18.8%
小計		31(15)	62.0%	100.0%	16(0)	66.7%	100.0%
不明		19(6)	38.0%		8(0)	33.3%	
計		50(21)	100.0%	—	24(0)	100.0%	—

⑤ 養育機関・教育機関の所属

こどもの養育機関・教育機関の所属について、心中以外の虐待死事例では、所属「なし」が33人（有効割合71.7%）、所属「あり」が13人（同28.3%）であった。「あり」の内訳は、「認可保育所」が7人（同15.2%）と最も多く、次いで「認可外保育所」「小学校」がそれぞれ2人（同4.3%）であった。

また、心中による虐待死事例では、所属「あり」が15人（同62.5%）であった。「あり」の内訳は、「小学校」が8人（同33.3%）と最も多く、次いで「幼稚園」が3人（同12.5%）であった。

表 29 こどもの養育機関・教育機関の所属

区分		心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂含む)		
		人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
なし		33(14)	66.0%	71.7%	9(0)	37.5%	37.5%
あり		13(4)	26.0%	28.3%	15(0)	62.5%	62.5%
内訳 (再掲)	認可保育所	7(1)	14.0%	15.2%	1(0)	4.2%	4.2%
	認可外保育所	2(1)	4.0%	4.3%	1(0)	4.2%	4.2%
	認定こども園	0(0)	0.0%	0.0%	1(0)	4.2%	4.2%
	幼稚園	0(0)	0.0%	0.0%	3(0)	12.5%	12.5%
	小学校	2(0)	4.0%	4.3%	8(0)	33.3%	33.3%
	中学校	1(1)	2.0%	2.2%	0(0)	0.0%	0.0%
	高等学校	0(0)	0.0%	0.0%	1(0)	4.2%	4.2%
	特別支援学校	1(1)	2.0%	2.2%	0(0)	0.0%	0.0%
	その他	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
小計		46(18)	92.0%	100.0%	24(0)	100.0%	100.0%
不明		4(3)	8.0%		0(0)	0.0%	
計		50(21)	100.0%	—	24(0)	100.0%	—

(5) 養育環境

① 養育者（実母）の心理的・精神的問題等

ア 養育者（実母）の心理的・精神的問題

養育者（実母）の心理的・精神的問題等について、心中以外の虐待死事例では、「育児不安」と「養育能力の低さ」がともに 17 人（34.7%）と最も多く、次いで「精神障害（医師の診断によるもの）」が 8 人（16.3%）であった。第 5 次報告から第 19 次報告までの総数を見ると、「養育能力の低さ」「育児不安」が多い。

心中による虐待死事例では「育児不安」が 9 人（37.5%）と最も多く、次いで「精神障害（医師の診断によるもの）」が 8 人（33.3%）、「うつ状態」が 7 人（29.2%）であった。第 5 次報告から第 19 次報告までの総数を見ても、「育児不安」「精神疾患（医師の診断によるもの）」「うつ状態」が多い。

なお、「養育能力の低さ」とは、こどもの成長発達を促すために必要な関わり（授乳や食事、保清、情緒的な要求への応答、こどもの体調変化の把握、安全面への配慮等）が適切にできない場合としている。

表 30 養育者（実母）の心理的・精神的問題等（心中以外の虐待死）（複数回答） ※1

区分		第5次から第18次まで (728人)	第19次(49人)	総数(第5次から第19 次まで)(777人)
育児不安	人数	170 (19)	17 (10)	187 (29)
	構成割合	23.4%	34.7%	24.1%
マタニティブルーズ	人数	26 (4)	2 (2)	28 (6)
	構成割合	3.6%	4.1%	3.6%
産後うつ	人数	41 (4)	1 (1)	42 (5)
	構成割合	5.6%	2.0%	5.4%
知的障害	人数	35 (6)	5 (1)	40 (7)
	構成割合	4.8%	10.2%	5.1%
精神障害(医師の診断 によるもの)	人数	72 (9)	8 (4)	80 (13)
	構成割合	9.9%	16.3%	10.3%
身体障害	人数	4 (0)	0 (0)	4 (0)
	構成割合	0.5%	0.0%	0.5%
その他の障害	人数	8 (2)	1 (1)	9 (3)
	構成割合	1.1%	2.0%	1.2%
アルコール依存	人数	14 (1)	1 (1)	15 (2)
	構成割合	1.9%	2.0%	1.9%
薬物依存	人数	8 (3)	0 (0)	8 (3)
	構成割合	1.1%	0.0%	1.0%
ギャンブル依存 ※2	人数	1 (0)	0 (0)	1 (0)
	構成割合	0.4%	0.0%	0.3%
衝動性	人数	79 (8)	3 (1)	82 (9)
	構成割合	10.9%	6.1%	10.6%
攻撃性	人数	66 (7)	2 (1)	68 (8)
	構成割合	9.1%	4.1%	8.8%
怒りのコントロール不全	人数	65 (6)	5 (4)	70 (10)
	構成割合	8.9%	10.2%	9.0%
うつ状態	人数	77 (8)	3 (1)	80 (9)
	構成割合	10.6%	6.1%	10.3%
躁状態	人数	8 (2)	0 (0)	8 (2)
	構成割合	1.1%	0.0%	1.0%
感情の起伏が激しい	人数	66 (11)	3 (2)	69 (13)
	構成割合	9.1%	6.1%	8.9%
高い依存性	人数	48 (6)	3 (2)	51 (8)
	構成割合	6.6%	6.1%	6.6%
幻視、幻聴	人数	16 (0)	0 (0)	16 (0)
	構成割合	2.2%	0.0%	2.1%
妄想	人数	16 (0)	0 (0)	16 (0)
	構成割合	2.2%	0.0%	2.1%
DVを受けている	人数	63 (8)	4 (3)	67 (11)
	構成割合	8.7%	8.2%	8.6%
DVを行っている	人数	8 (0)	1 (1)	9 (1)
	構成割合	1.1%	2.0%	1.2%
自殺未遂の既往	人数	33 (7)	1 (0)	34 (7)
	構成割合	4.5%	2.0%	4.4%
養育能力の低さ	人数	199 (32)	17 (6)	216 (38)
	構成割合	27.4%	34.7%	27.8%
日本語でのコミュニケーションが難しい(日本語を母国語としていない) ※3	人数	14 (5)	1 (0)	15 (5)
	構成割合	2.6%	2.0%	2.5%

※1 実母の有無について「いない」「不明」と回答した事例を除く

※2 第14次報告から調査。累計母数は309人

※3 第8次報告から調査。累計母数は595人

表 31 養育者（実母）の心理的・精神的問題等（心中による虐待死）（複数回答） ※1

区分		第5次から第18次まで (416人)	第19次(24人)	総数(第5次から第19 次まで)(440人)
育児不安	人数	102 (2)	9 (0)	111 (2)
	構成割合	24.5%	37.5%	25.2%
マタニティブルーズ	人数	12 (0)	0 (0)	12 (0)
	構成割合	2.9%	0.0%	2.7%
産後うつ	人数	23 (2)	0 (0)	23 (2)
	構成割合	5.5%	0.0%	5.2%
知的障害	人数	4 (0)	0 (0)	4 (0)
	構成割合	1.0%	0.0%	0.9%
精神障害(医師の診断 によるもの)	人数	99 (1)	8 (0)	107 (1)
	構成割合	23.8%	33.3%	24.3%
身体障害	人数	4 (0)	0 (0)	4 (0)
	構成割合	1.0%	0.0%	0.9%
その他の障害	人数	3 (0)	0 (0)	3 (0)
	構成割合	0.7%	0.0%	0.7%
アルコール依存	人数	7 (0)	0 (0)	7 (0)
	構成割合	1.7%	0.0%	1.6%
薬物依存	人数	4 (0)	0 (0)	4 (0)
	構成割合	1.0%	0.0%	0.9%
ギャンブル依存 ※2	人数	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	構成割合	0.0%	0.0%	0.0%
衝動性	人数	33 (0)	3 (0)	36 (0)
	構成割合	7.9%	12.5%	8.2%
攻撃性	人数	14 (0)	2 (0)	16 (0)
	構成割合	3.4%	8.3%	3.6%
怒りのコントロール不全	人数	13 (0)	3 (0)	16 (0)
	構成割合	3.1%	12.5%	3.6%
うつ状態	人数	99 (1)	7 (0)	106 (1)
	構成割合	23.8%	29.2%	24.1%
躁状態	人数	5 (0)	0 (0)	5 (0)
	構成割合	1.2%	0.0%	1.1%
感情の起伏が激しい	人数	25 (0)	4 (0)	29 (0)
	構成割合	6.0%	16.7%	6.6%
高い依存性	人数	14 (0)	2 (0)	16 (0)
	構成割合	3.4%	8.3%	3.6%
幻視、幻聴	人数	4 (0)	1 (0)	5 (0)
	構成割合	1.0%	4.2%	1.1%
妄想	人数	10 (0)	3 (0)	13 (0)
	構成割合	2.4%	12.5%	3.0%
DVを受けている	人数	15 (1)	1 (0)	16 (1)
	構成割合	3.6%	4.2%	3.6%
DVを行っている	人数	8 (0)	0 (0)	8 (0)
	構成割合	1.9%	0.0%	1.8%
自殺未遂の既往	人数	33 (0)	4 (0)	37 (0)
	構成割合	7.9%	16.7%	8.4%
養育能力の低さ	人数	30 (1)	1 (0)	31 (1)
	構成割合	7.2%	4.2%	7.0%
日本語でのコミュニケーションが難しい(日本語を母国語としていない) ※3	人数	6 (2)	0 (0)	6 (2)
	構成割合	2.0%	0.0%	1.9%

※1 実母の有無について「いない」「不明」と回答した事例を除く

※2 第14次報告から調査。累計母数は123人

※3 第8次報告から調査。累計母数は323人

【参考事例】

＜実母の養育能力の低さがあった事例＞

○6歳女兒（実母のネグレクトにより死亡）

実母の養育能力の低さによる養護相談として児童相談所が関与。こどもの夜間放置に関する注意、指導を実施し、施設入所を検討するも長期休暇中に死亡。

イ 養育者（実父）の心理的・精神的問題等

養育者（実父）の心理的・精神的問題等について、心中以外の虐待死事例では、「DVを行っている」が5人（14.3%）と最も多く、次いで「攻撃性」「感情の起伏が激しい」「養育能力の低さ」がいずれも4人（11.4%）であった。第5次報告から第19次報告までの総数を見ると、「養育能力の低さ」「攻撃性」「感情の起伏が激しい」「怒りのコントロール不全」「衝動性」の問題が多かった。

また、心中による虐待死事例では、「うつ状態」が2人（9.5%）であった。

表 32 養育者（実父）の心理的・精神的問題等（心中以外の虐待死）（複数回答） ※1

区分		第5次から第18次まで (515人)	第19次(35人)	総数(第5次から第19 次まで)(550人)
育児不安	人数	21 (4)	1 (1)	22 (5)
	構成割合	4.1%	2.9%	4.0%
知的障害	人数	6 (3)	0 (0)	6 (3)
	構成割合	1.2%	0.0%	1.1%
精神障害(医師の診断 によるもの)	人数	15 (4)	3 (2)	18 (6)
	構成割合	2.9%	8.6%	3.3%
身体障害	人数	4 (1)	0 (0)	4 (1)
	構成割合	0.8%	0.0%	0.7%
その他の障害	人数	4 (1)	1 (1)	5 (2)
	構成割合	0.8%	2.9%	0.9%
アルコール依存	人数	5 (1)	0 (0)	5 (1)
	構成割合	1.0%	0.0%	0.9%
薬物依存	人数	4 (1)	0 (0)	4 (1)
	構成割合	0.8%	0.0%	0.7%
ギャンブル依存 ※2	人数	2 (0)	0 (0)	2 (0)
	構成割合	1.1%	0.0%	0.9%
衝動性	人数	51 (7)	2 (1)	53 (8)
	構成割合	9.9%	5.7%	9.6%
攻撃性	人数	59 (7)	4 (2)	63 (9)
	構成割合	11.5%	11.4%	11.5%
怒りのコントロール不全	人数	51 (4)	3 (2)	54 (6)
	構成割合	9.9%	8.6%	9.8%
うつ状態	人数	7 (0)	1 (1)	8 (1)
	構成割合	1.4%	2.9%	1.5%
躁状態	人数	3 (0)	1 (1)	4 (1)
	構成割合	0.6%	2.9%	0.7%
感情の起伏が激しい	人数	51 (11)	4 (2)	55 (13)
	構成割合	9.9%	11.4%	10.0%
高い依存性	人数	10 (1)	1 (1)	11 (2)
	構成割合	1.9%	2.9%	2.0%
幻視、幻聴	人数	2 (0)	0 (0)	2 (0)
	構成割合	0.4%	0.0%	0.4%
妄想	人数	2 (0)	0 (0)	2 (0)
	構成割合	0.4%	0.0%	0.4%
DVを受けている	人数	9 (1)	1 (1)	10 (2)
	構成割合	1.7%	2.9%	1.8%
DVを行っている	人数	46 (7)	5 (3)	51 (10)
	構成割合	8.9%	14.3%	9.3%
自殺未遂の既往	人数	7 (2)	0 (0)	7 (2)
	構成割合	1.4%	0.0%	1.3%
養育能力の低さ	人数	85 (19)	4 (2)	89 (21)
	構成割合	16.5%	11.4%	16.2%
日本語でのコミュニケーションが難しい(日本語を母国語としていない) ※3	人数	11 (3)	0 (0)	11 (3)
	構成割合	2.8%	0.0%	2.6%

※1 実父の有無について「いない」「不明」と回答した事例を除く

※2 第14次報告から調査。累計母数は222人

※3 第8次報告から調査。累計母数は428人

表 33 養育者（実父）の心理的・精神的問題等（心中による虐待死）（複数回答） ※1

区分		第5次から第18次まで (352人)	第19次(21人)	総数(第5次から第19 次まで)(373人)
育児不安	人数	16 (0)	1 (0)	17 (0)
	構成割合	4.5%	4.8%	4.6%
知的障害	人数	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	構成割合	0.0%	0.0%	0.0%
精神障害(医師の診断 によるもの)	人数	9 (0)	0 (0)	9 (0)
	構成割合	2.6%	0.0%	2.4%
身体障害	人数	1 (0)	1 (0)	2 (0)
	構成割合	0.3%	4.8%	0.5%
その他の障害	人数	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	構成割合	0.0%	0.0%	0.0%
アルコール依存	人数	1 (0)	0 (0)	1 (0)
	構成割合	0.3%	0.0%	0.3%
薬物依存	人数	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	構成割合	0.0%	0.0%	0.0%
ギャンブル依存 ※2	人数	1 (0)	0 (0)	1 (0)
	構成割合	1.1%	0.0%	0.9%
衝動性	人数	15 (0)	1 (0)	16 (0)
	構成割合	4.3%	4.8%	4.3%
攻撃性	人数	11 (0)	1 (0)	12 (0)
	構成割合	3.1%	4.8%	3.2%
怒りのコントロール不全	人数	15 (0)	1 (0)	16 (0)
	構成割合	4.3%	4.8%	4.3%
うつ状態	人数	13 (0)	2 (0)	15 (0)
	構成割合	3.7%	9.5%	4.0%
躁状態	人数	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	構成割合	0.0%	0.0%	0.0%
感情の起伏が激しい	人数	11 (0)	1 (0)	12 (0)
	構成割合	3.1%	4.8%	3.2%
高い依存性	人数	1 (0)	0 (0)	1 (0)
	構成割合	0.3%	0.0%	0.3%
幻視、幻聴	人数	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	構成割合	0.0%	0.0%	0.0%
妄想	人数	4 (0)	0 (0)	4 (0)
	構成割合	1.1%	0.0%	1.1%
DVを受けている	人数	3 (0)	0 (0)	3 (0)
	構成割合	0.9%	0.0%	0.8%
DVを行っている	人数	13 (0)	1 (0)	14 (0)
	構成割合	3.7%	4.8%	3.8%
自殺未遂の既往	人数	1 (0)	1 (0)	2 (0)
	構成割合	0.3%	4.8%	0.5%
養育能力の低さ	人数	4 (0)	0 (0)	4 (0)
	構成割合	1.1%	0.0%	1.1%
日本語でのコミュニケーションが難しい(日本語を母国語としていない) ※3	人数	2 (0)	0 (0)	2 (0)
	構成割合	0.8%	0.0%	0.7%

※1 実父の有無について「いない」「不明」と回答した事例を除く

※2 第14次報告から調査。累計母数は112人

※3 第8次報告から調査。累計母数は275人

(6) 関係機関の関与・対応状況

① 虐待通告の状況

ア 虐待通告の有無と通告先

死亡に至った事例の発生以前になされた虐待通告について、心中以外の虐待死事例では、通告「なし」が 31 人 (62.0%)、「あり」が 19 人 (38.0%) であった。死亡に至った事例の虐待通告先は、「児童相談所」が 13 人 (26.0%)、「市区町村」が 5 人 (10.0%) であった。

心中による虐待死事例では、通告「なし」が 20 人 (83.3%)、「あり」が 4 人 (16.7%) であり、死亡に至った事例の虐待通告先は、「児童相談所」と「市区町村」がともに 2 人 (8.3%) であった。

表 34 虐待通告の有無と通告先 (心中以外の虐待死)

区分		第5次から第18次まで	第19次	総数(第5次から第19次まで)	
なし	人数	571 (86)	31 (11)	602 (97)	
	構成割合	76.4%	62.0%	75.5%	
あり	人数	153 (34)	19 (10)	172 (44)	
	構成割合	20.5%	38.0%	21.6%	
内訳	児童相談所	人数	106 (25)	13 (8)	119 (33)
		構成割合	14.2%	26.0%	14.9%
	市区町村	人数	41 (9)	5 (2)	46 (11)
		構成割合	5.5%	10.0%	5.8%
	都道府県が設置する福祉事務所	人数	2 (0)	0 (0)	2 (0)
		構成割合	0.3%	0.0%	0.3%
	その他	人数	4 (0)	1 (0)	5 (0)
		構成割合	0.5%	2.0%	0.6%
不明	人数	23 (1)	0 (0)	23 (1)	
	構成割合	3.1%	0.0%	2.9%	
計	人数	747 (121)	50 (21)	797 (142)	
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%	

【参考事例】

<死亡に至った事例の発生以前に虐待通告があった事例>

○ 3歳男児 (交際相手による身体的虐待で死亡)

本児の額や首の怪我について児童相談所に通告あり。実母に安全配慮について指導するも実母と交際相手から本児への暴力について複数回の通告あり。交際相手からの身体的虐待により死亡。

表 35 虐待通告の有無と通告先（心中による虐待死）

区分		第5次から第18次 まで	第19次	総数(第5次から 第19次まで)	
なし	人数	361 (9)	20 (0)	381 (9)	
	構成割合	73.4%	83.3%	73.8%	
あり	人数	57 (2)	4 (0)	61 (2)	
	構成割合	11.6%	16.7%	11.8%	
内訳	児童相談所	人数	30 (0)	2 (0)	32 (0)
		構成割合	6.1%	8.3%	6.2%
	市区町村	人数	23 (2)	2 (0)	25 (2)
		構成割合	4.7%	8.3%	4.8%
	都道府県が設置する 福祉事務所	人数	1 (0)	0 (0)	1 (0)
		構成割合	0.2%	0.0%	0.2%
	その他	人数	3 (0)	0 (0)	3 (0)
		構成割合	0.6%	0.0%	0.6%
不明	人数	74 (1)	0 (0)	74 (1)	
	構成割合	15.0%	0.0%	14.3%	
計	人数	492 (12)	24 (0)	516 (12)	
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%	

② 児童相談所の関与

ア 児童相談所の関与の状況

児童相談所の関与の状況について、心中以外の虐待死事例では、関与「あり」が16人(32.0%)、「なし」が34人(68.0%)で、関与がない人が全体の7割近くを占めていた。

心中による虐待死事例では、関与「あり」が4人(16.7%)、「なし」が20人(83.3%)であった。

表 36 児童相談所の関与状況（心中以外の虐待死）

区分		第5次から第18次 まで	第19次	総数(第5次から 第19次まで)
あり	人数	167 (34)	16 (7)	183 (41)
	構成割合	22.4%	32.0%	23.0%
なし	人数	562 (86)	34 (14)	596 (100)
	構成割合	75.2%	68.0%	74.8%
不明	人数	18 (1)	0 (0)	18 (1)
	構成割合	2.4%	0.0%	2.3%
計	人数	747 (121)	50 (21)	797 (142)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

表 37 児童相談所の関与状況（心中による虐待死）

区分		第5次から第18次 まで	第19次	総数(第5次から 第19次まで)
あり	人数	75 (1)	4 (0)	79 (1)
	構成割合	15.2%	16.7%	15.3%
なし	人数	345 (10)	20 (0)	365 (10)
	構成割合	70.1%	83.3%	70.7%
不明	人数	72 (1)	0 (0)	72 (1)
	構成割合	14.6%	0.0%	14.0%
計	人数	492 (12)	24 (0)	516 (12)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

イ 児童相談所等の関与の状況

児童相談所等の関与の状況について、心中以外の虐待死事例では、「児童相談所の関与あり」の16人のうち「市区町村（虐待対応担当部署）の関与あり」は11人（68.8%）、「その他の機関の関与あり」は16人全てであった。具体的には「医療機関」「福祉事務所」「家庭児童相談室」「市区町村の母子保健担当部署（保健センター等）」「養育機関・教育機関」「警察」等があった。

また、心中による虐待死事例では、「児童相談所の関与あり」4人のうち、「市区町村（虐待対応担当部署）の関与あり」は4人全て、「その他の機関の関与あり」は2人（50.0%）であった。

表 38 児童相談所と市区町村（虐待対応担当部署）の関与状況

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死(未遂含む)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
児童相談所の関与あり	16(7)		4(0)	
市区町村(虐待対応担当部署)の関与あり	11(4)	68.8%	4(0)	100.0%
その他の機関の関与あり	16(7)	100.0%	2(0)	50.0%

ウ 児童相談所における相談種別

児童相談所で関与した事例における相談種別（複数回答）について、心中以外の虐待死事例では、「虐待相談」が13人（81.3%）と最も多く、次いで「虐待以外の養護相談」7人（43.8%）であった。

表 39 児童相談所における相談種別（複数回答）

区分	第5次から第18次まで				第19次				総数(第5次から第19次まで)			
	心中以外の虐待死(167人)		心中による虐待死(未遂含む)(75人)		心中以外の虐待死(16人)		心中による虐待死(未遂含む)(4人)		心中以外の虐待死(183人)		心中による虐待死(未遂含む)(79人)	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
虐待相談	111(24)	66.5%	34(0)	45.3%	13(5)	81.3%	2(0)	50.0%	124(29)	67.8%	36(0)	45.6%
虐待以外の養護相談	58(14)	34.7%	27(1)	36.0%	7(3)	43.8%	2(0)	50.0%	65(17)	35.5%	29(1)	36.7%
障害相談	10(1)	6.0%	21(0)	28.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	10(1)	5.5%	21(0)	26.6%
非行相談	0(0)	0.0%	1(0)	1.3%	1(0)	6.3%	1(0)	25.0%	1(0)	0.5%	2(0)	2.5%
育成相談	3(0)	1.8%	5(0)	6.7%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	3(0)	1.6%	5(0)	6.3%
保健相談	1(1)	0.6%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	1(1)	0.5%	0(0)	0.0%
その他	8(1)	4.8%	2(0)	2.7%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	8(1)	4.4%	2(0)	2.5%

エ 児童相談所における虐待についての認識

児童相談所が関与した事例における児童相談所の虐待についての認識について、心中以外の虐待死事例では、「虐待の認識があり、対応していた」が10人(62.5%)と最も多く、次いで「虐待の可能性は認識していたが、確定していなかった」が5人(31.3%)であった。第5次報告から第19次報告までの総数をみると、「虐待の認識があり、対応をしていた」事例が多い。

表 40 児童相談所における虐待についての認識 (心中以外の虐待死)

区分		第5次から 第18次まで	第19次	総数(第5次から 第19次まで)
虐待の認識があり、対応していた	人数	64 (17)	10 (3)	74 (20)
	構成割合	38.3%	62.5%	40.4%
虐待の可能性は認識していたが、 確定していなかった	人数	57 (9)	5 (3)	62 (12)
	構成割合	34.1%	31.3%	33.9%
虐待の認識はなかった	人数	46 (8)	1 (1)	47 (9)
	構成割合	27.5%	6.3%	25.7%
計	人数	167 (34)	16 (7)	183 (41)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

表 41 児童相談所における虐待についての認識 (心中による虐待死)

区分		第5次から 第18次まで	第19次	総数(第5次から 第19次まで)
虐待の認識があり、対応していた	人数	25 (0)	2 (0)	27 (0)
	構成割合	33.3%	50.0%	34.2%
虐待の可能性は認識していたが、 確定していなかった	人数	9 (0)	0 (0)	9 (0)
	構成割合	12.0%	0.0%	11.4%
虐待の認識はなかった	人数	41 (1)	2 (0)	43 (1)
	構成割合	54.7%	50.0%	54.4%
計	人数	75 (1)	4 (0)	79 (1)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

オ 児童相談所におけるリスク判定の定期的な見直し状況

児童相談所が関与した事例におけるリスク判定の見直し状況について、心中以外の虐待死事例では、定期的な見直しを「行った」が 6 人 (37.5%)、「行わなかった」が 10 人 (62.5%) であった。

第 5 次報告から第 19 次報告までの心中以外の虐待死事例の累計は、定期的な見直しを「行った」が 51 人 (27.9%)、「行わなかった」が 131 人 (71.6%) であった。

また、心中による虐待死事例の累計は、定期的な見直しを「行った」が 13 人 (16.5%)、「行わなかった」が 66 人 (83.5%) であった。

表 42 児童相談所におけるリスク判定の定期的な見直し状況（心中以外の虐待死）

区分		第5次から 第18次まで	第19次	総数(第5次から 第19次まで)
行った	人数	45 (12)	6 (3)	51 (15)
	構成割合	26.9%	37.5%	27.9%
行わなかった	人数	121 (22)	10 (4)	131 (26)
	構成割合	72.5%	62.5%	71.6%
不明	人数	1 (0)	0 (0)	1 (0)
	構成割合	0.6%	0.0%	0.5%
計	人数	167 (34)	16 (7)	183 (41)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

表 43 児童相談所におけるリスク判定の定期的な見直し状況（心中による虐待死）

区分		第5次から 第18次まで	第19次	総数(第5次から 第19次まで)
行った	人数	12 (0)	1 (0)	13 (0)
	構成割合	16.0%	25.0%	16.5%
行わなかった	人数	63 (1)	3 (0)	66 (1)
	構成割合	84.0%	75.0%	83.5%
不明	人数	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	構成割合	0.0%	0.0%	0.0%
計	人数	75 (1)	4 (0)	79 (1)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

カ 児童相談所による最終安全確認の時期

児童相談所が関与した事例における児童相談所による最終安全確認を行っていた時期について、心中以外の虐待死事例では、安全確認を行った時期が「死亡前の1週間未満」「死亡前の1か月～3か月未満」「死亡前の半年以上」がいずれも4人（25.0%）であった。

表 44 児童相談所による最終安全確認の時期

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死(未遂含む)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
死亡前の1週間未満	4 (3)	25.0%	0 (0)	0.0%
死亡前の1週間～1か月未満	2 (0)	12.5%	3 (0)	75.0%
死亡前の1か月～3か月未満	4 (2)	25.0%	0 (0)	0.0%
死亡前の3か月～半年未満	1 (0)	6.3%	1 (0)	25.0%
死亡前の半年以上	4 (1)	25.0%	0 (0)	0.0%
不明	1 (1)	6.3%	0 (0)	0.0%
計	16 (7)	100.0%	4 (0)	100.0%

キ 児童相談所による安全確認方法

児童相談所が関与した事例における児童相談所による安全確認方法について、心中以外の虐待死事例では、「不定期に訪問して安全確認」が3人（18.8%）、「その他」が10人（62.5%）等であった。「その他」には、「不定期に電話や訪問し確認」「関係機関による見守り」等による安全確認の事例があった。

表 45 児童相談所による安全確認方法

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死(未遂含む)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
不定期に電話にて安全確認	1 (0)	6.3%	0 (0)	0.0%
不定期に訪問して安全確認	3 (1)	18.8%	0 (0)	0.0%
定期的に電話にて安全確認	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
定期的に訪問し安全確認	2 (1)	12.5%	1 (0)	25.0%
その他	10 (5)	62.5%	3 (0)	75.0%
計	16 (7)	100.0%	4 (0)	100.0%

③ 市区町村（虐待対応担当部署）の関与

ア 市区町村（虐待対応担当部署）の関与状況

市区町村の虐待対応担当部署の関与状況について、心中以外の虐待死事例では、関与「あり」が19人（38.0%）、「なし」が30人（60.0%）であった。

また、心中による虐待死事例では、関与「あり」が8人（33.3%）、「なし」が16人（66.7%）であった。

表 46 市区町村（虐待対応担当部署）の関与状況（心中以外の虐待死）

区分		第5次から第18次まで	第19次	総数(第5次から第19次まで)
あり	人数	180(43)	19(10)	199(53)
	構成割合	24.1%	38.0%	25.0%
なし	人数	543(76)	30(11)	573(87)
	構成割合	72.7%	60.0%	71.9%
不明	人数	24(2)	1(0)	25(2)
	構成割合	3.2%	2.0%	3.1%
計	人数	747(121)	50(21)	797(142)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

表 47 市区町村（虐待対応担当部署）の関与状況（心中による虐待死）

区分		第5次から第18次まで	第19次	総数(第5次から第19次まで)
あり	人数	68(2)	8(0)	76(2)
	構成割合	13.8%	33.3%	14.7%
なし	人数	349(9)	16(0)	365(9)
	構成割合	70.9%	66.7%	70.7%
不明	人数	75(1)	0(0)	75(1)
	構成割合	15.2%	0.0%	14.5%
計	人数	492(12)	24(0)	516(12)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

イ 市区町村（虐待対応担当部署）における相談種別

市区町村の虐待対応担当部署が関与した事例における相談種別（複数回答）について、心中以外の虐待死事例では、「虐待相談」が 12 人（63.2%）と最も多く、次いで「虐待以外の養護相談」が 8 人（42.1%）であった。

表 48 市区町村（虐待対応担当部署）における相談種別（複数回答）

区分	第5次から第18次まで				第19次				総数(第5次から第19次まで)			
	心中以外の虐待死 (180人)		心中による虐待死 (未遂含む) (68人)		心中以外の虐待死 (19人)		心中による虐待死 (未遂含む) (8人)		心中以外の虐待死 (199人)		心中による虐待死 (未遂含む) (76人)	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
虐待相談	104(25)	57.8%	29(0)	42.6%	12(6)	63.2%	2(0)	25.0%	116(31)	58.3%	31(0)	40.8%
虐待以外の養護相談	8(5)	4.4%	9(0)	13.2%	8(4)	42.1%	7(0)	87.5%	16(9)	8.0%	16(0)	21.1%
障害相談	53(11)	29.4%	31(0)	45.6%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	53(11)	26.6%	31(0)	40.8%
非行相談	0(0)	0.0%	2(0)	2.9%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%	2(0)	2.6%
育成相談	9(2)	5.0%	4(0)	5.9%	1(0)	5.3%	1(0)	12.5%	10(2)	5.0%	5(0)	6.6%
保健相談	18(2)	10.0%	4(0)	5.9%	1(1)	5.3%	0(0)	0.0%	19(3)	9.5%	4(0)	5.3%
その他	23(4)	12.8%	8(2)	11.8%	5(4)	26.3%	0(0)	0.0%	28(8)	14.1%	8(2)	10.5%

ウ 市区町村（虐待対応担当部署）の相談受付経路

市区町村の虐待対応担当部署で関与した事例における相談受付経路（複数回答）について、心中以外の虐待死事例では、「保健所・保健センター」が9人（47.4%）で最も多く、次いで「児童相談所」が7人（36.8%）であった。

表 49 市区町村の相談受付経路（複数回答）

区分	心中以外の虐待死(19人)		心中による虐待死(未遂を含む)(8人)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
児童家庭支援センター	1 (1)	5.3%	0 (0)	0.0%
母子生活支援施設	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
保育所・学校等	5 (1)	26.3%	0 (0)	0.0%
上記以外の児童福祉施設	0 (0)	0.0%	1 (0)	12.5%
児童相談所	7 (3)	36.8%	3 (0)	37.5%
配偶者暴力相談支援センター	0 (0)	0.0%	1 (0)	12.5%
福祉事務所	3 (1)	15.8%	1 (0)	12.5%
保健所・保健センター	9 (6)	47.4%	0 (0)	0.0%
子育て世代包括支援センター	2 (0)	10.5%	0 (0)	0.0%
市区町村子ども家庭総合支援拠点	1 (1)	5.3%	0 (0)	0.0%
上記以外の都道府県の部署・機関	1 (0)	5.3%	0 (0)	0.0%
上記以外の市区町村の部署・機関	1 (0)	5.3%	0 (0)	0.0%
警察	2 (1)	10.5%	0 (0)	0.0%
家庭裁判所	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
医療機関	2 (0)	10.5%	0 (0)	0.0%
産婦人科	2 (0)	10.5%	0 (0)	0.0%
小児科	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
内科	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
精神科	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
整形外科	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
脳神経外科	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
救急外来	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
歯科	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
その他	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
民生委員・児童委員	2 (1)	10.5%	1 (0)	12.5%
里親	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
民間団体	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
近隣住民・知人	4 (2)	21.1%	1 (0)	12.5%
家族・親戚	2 (1)	10.5%	3 (0)	37.5%
こども本人	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
その他	4 (3)	21.1%	0 (0)	0.0%

【参考事例】

＜相談受付経路が市区町村母子保健担当部署の事例＞

○1歳女児（実母によるネグレクトで死亡）

新生児訪問の連絡に実母が応じないため、居所不明児童として市区町村母子保健担当部署から市区町村虐待対応担当部署に情報提供。市区町村虐待対応担当部署が養護相談として受理し家庭訪問、実母に指導を実施していたが実母によるネグレクトで死亡。

④ 児童相談所と市区町村（虐待対応担当部署）の関与の状況

児童相談所と市区町村の虐待対応担当部署の関与の状況について、心中以外の虐待死事例では、「児童相談所と市区町村（虐待対応担当部署）の両方が関与」があった事例が11人（22.0%）、「市区町村（虐待対応担当部署）のみ関与」があった事例が8人（16.0%）であった。

また、心中による虐待死事例では、「市区町村（虐待対応担当部署）のみ関与」と「児童相談所と市区町村（虐待対応担当部署）の両方が関与」がともに4人（16.7%）であった。

表 50 児童相談所と市区町村（虐待対応担当部署）の関与の状況

区分	第5次から第18次まで				第19次			
	心中以外の虐待死		心中による虐待死 (未遂含む)		心中以外の虐待死		心中による虐待死 (未遂含む)	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
児童相談所のみ関与	49 (8)	6.6%	33 (1)	6.7%	5 (3)	10.0%	0 (0)	0.0%
市区町村(虐待対応担当部署)のみ関与	62 (17)	8.3%	27 (2)	5.5%	8 (6)	16.0%	4 (0)	16.7%
児童相談所と市区町村(虐待対応担当部署)の両方が関与	118 (26)	15.8%	41 (0)	8.3%	11 (4)	22.0%	4 (0)	16.7%
児童相談所と市区町村(虐待対応担当部署)ともに関与なし	494 (68)	66.1%	315 (8)	64.0%	25 (8)	50.0%	16 (0)	66.7%
不明 ※1	24 (2)	3.2%	76 (1)	15.4%	1 (0)	2.0%	0 (0)	0.0%
計	747 (121)	100.0%	492 (12)	100.0%	50 (21)	100.0%	24 (0)	100.0%

区分	総数(第5次から第19次まで)			
	心中以外の虐待死		心中による虐待死 (未遂含む)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
児童相談所のみ関与	54 (11)	6.8%	33 (1)	6.4%
市区町村(虐待対応担当部署)のみ関与	70 (23)	8.8%	31 (2)	6.0%
児童相談所と市区町村(虐待対応担当部署)の両方が関与	129 (30)	16.2%	45 (0)	8.7%
児童相談所と市区町村(虐待対応担当部署)ともに関与なし	519 (76)	65.1%	331 (8)	64.1%
不明 ※1	25 (2)	3.1%	76 (1)	14.7%
計	797 (142)	100.0%	516 (12)	100.0%

※1 児童相談所もしくは市区町村(虐待対応担当部署)の関与状況が不明・未記入

⑤ その他の関係機関の関与の状況

児童相談所と市区町村（虐待対応担当部署）を除いた、その他の関係機関の関与の状況について、心中以外の虐待死事例では、「市区町村の母子保健担当部署（保健センター等）」は、関与があったものの虐待の認識を持たずに対応していた「関与はあったが虐待の認識なし」の事例が 24 人（48.0%）で、他の機関と比較して最も多く、また、虐待の認識がありながら関与していた「関与あり虐待の認識もあり」の事例についても 11 人（22.0%）で他の機関と比較して最も多かった。また、「医療機関」についても、「関与はあったが虐待の認識なし」が 17 人（34.0%）、「関与あり虐待の認識もあり」は 10 人（20.0%）で、「市区町村の母子保健担当部署」に次いで多かった。

また、心中による虐待死事例では、「関与はあったが虐待の認識なし」の事例が、「市区町村の母子保健担当部署（保健センター等）」が 17 人（70.8%）で最も多く、次いで「医療機関」が 8 人（33.3%）、「養育機関・教育機関」が 7 人（29.2%）であった。「関与あり虐待の認識もあり」の事例は、「家庭児童相談室」が 5 人（20.8%）であった。

表 51 その他の関係機関の関与状況（心中以外の虐待死）（不明を除く）

区分	第5次から第18次まで(747人)			第19次(50人)			
	関与なし	関与はあったが虐待の認識なし	関与あり虐待の認識もあり	関与なし	関与はあったが虐待の認識なし	関与あり虐待の認識もあり	
福祉事務所	人数	565(83)	95(20)	40(11)	33(12)	8(3)	6(4)
	割合	75.6%	12.7%	5.4%	66.0%	16.0%	12.0%
家庭児童相談室	人数	607(97)	45(9)	47(10)	38(17)	4(2)	7(2)
	割合	81.3%	6.0%	6.3%	76.0%	8.0%	14.0%
民生委員・児童委員	人数	595(97)	24(5)	17(0)	38(14)	2(2)	2(0)
	割合	79.7%	3.2%	2.3%	76.0%	4.0%	4.0%
保健所	人数	612(104)	54(5)	15(2)	45(19)	1(1)	1(0)
	割合	81.9%	7.2%	2.0%	90.0%	2.0%	2.0%
市区町村の母子保健担当部署(保健センター等)	人数	314(47)	292(47)	92(24)	12(4)	24(11)	11(6)
	割合	42.0%	39.1%	12.3%	24.0%	48.0%	22.0%
養育機関・教育機関	人数	520(88)	118(16)	57(10)	28(14)	8(3)	9(2)
	割合	69.6%	15.8%	7.6%	56.0%	16.0%	18.0%
医療機関	人数	329(47)	209(35)	74(19)	16(6)	17(9)	10(4)
	割合	44.0%	28.0%	9.9%	32.0%	34.0%	20.0%
助産師(医療機関に勤務する者を除く)	人数	582(101)	29(4)	4(0)	35(17)	6(1)	1(0)
	割合	77.9%	3.9%	0.5%	70.0%	12.0%	2.0%
警察	人数	602(102)	41(5)	36(7)	42(18)	1(1)	7(2)
	割合	80.6%	5.5%	4.8%	84.0%	2.0%	14.0%
婦人相談所※1	人数	480(105)	4(0)	7(2)	39(18)	0(0)	2(0)
	割合	64.3%	0.5%	0.9%	78.0%	0.0%	4.0%
配偶者暴力相談支援センター※2	人数	139(62)	0(0)	2(1)	39(17)	1(0)	0(0)
	割合	86.9%	0.0%	1.3%	78.0%	2.0%	0.0%

※1 第8次報告から調査。累計母数は603人

※2 第16次報告から調査。累計母数は210人

(続き)

区分	総数(第5次から第19次まで)(797人)			
	関与なし	関与はあったが虐待の認識なし	関与あり虐待の認識もあり	
福祉事務所	人数	598 (95)	103 (23)	46 (15)
	割合	75.0%	12.9%	5.8%
家庭児童相談室	人数	645 (114)	49 (11)	54 (12)
	割合	80.9%	6.1%	6.8%
民生委員・児童委員	人数	633 (111)	26 (7)	19 (0)
	割合	79.4%	3.3%	2.4%
保健所	人数	657 (123)	55 (6)	16 (2)
	割合	82.4%	6.9%	2.0%
市区町村の母子保健担当部署(保健センター等)	人数	326 (51)	316 (58)	103 (30)
	割合	40.9%	39.6%	12.9%
養育機関・教育機関	人数	548 (102)	126 (19)	66 (12)
	割合	68.8%	15.8%	8.3%
医療機関	人数	345 (53)	226 (44)	84 (23)
	割合	43.3%	28.4%	10.5%
助産師(医療機関に勤務する者を除く)	人数	617 (118)	35 (5)	5 (0)
	割合	77.4%	4.4%	0.6%
警察	人数	644 (120)	42 (6)	43 (9)
	割合	80.8%	5.3%	5.4%
婦人相談所※1	人数	519 (123)	4 (0)	9 (2)
	割合	86.1%	0.7%	1.5%
配偶者暴力相談支援センター※2	人数	178 (79)	1 (0)	2 (1)
	割合	84.8%	0.5%	1.0%

※1 第8次報告から調査。累計母数は603人

※2 第16次報告から調査。累計母数は210人

表 52 その他の関係機関の関与状況（心中による虐待死）（不明を除く）

区分	第5次から第18次まで(492人)			第19次(24人)			
	関与なし	関与はあったが虐待の認識なし	関与あり虐待の認識もあり	関与なし	関与はあったが虐待の認識なし	関与あり虐待の認識もあり	
福祉事務所	人数	300 (10)	84 (1)	14 (0)	21 (0)	2 (0)	1 (0)
	割合	61.0%	17.1%	2.8%	87.5%	8.3%	4.2%
家庭児童相談室	人数	349 (9)	35 (0)	18 (2)	18 (0)	1 (0)	5 (0)
	割合	70.9%	7.1%	3.7%	75.0%	4.2%	20.8%
民生委員・児童委員	人数	323 (11)	16 (0)	2 (0)	22 (0)	2 (0)	0 (0)
	割合	65.7%	3.3%	0.4%	91.7%	8.3%	0.0%
保健所	人数	355 (8)	29 (3)	5 (0)	23 (0)	0 (0)	1 (0)
	割合	72.2%	5.9%	1.0%	95.8%	0.0%	4.2%
市区町村の母子保健担当部署(保健センター等)	人数	177 (6)	202 (3)	16 (2)	5 (0)	17 (0)	2 (0)
	割合	36.0%	41.1%	3.3%	20.8%	70.8%	8.3%
養育機関・教育機関	人数	175 (5)	187 (6)	24 (0)	14 (0)	7 (0)	1 (0)
	割合	35.6%	38.0%	4.9%	58.3%	29.2%	4.2%
医療機関	人数	160 (5)	130 (3)	9 (2)	10 (0)	8 (0)	2 (0)
	割合	32.5%	26.4%	1.8%	41.7%	33.3%	8.3%
助産師(医療機関に勤務する者を除く)	人数	299 (10)	19 (0)	0 (0)	17 (0)	3 (0)	0 (0)
	割合	60.8%	3.9%	0.0%	70.8%	12.5%	0.0%
警察	人数	334 (11)	16 (0)	25 (0)	22 (0)	0 (0)	2 (0)
	割合	67.9%	3.3%	5.1%	91.7%	0.0%	8.3%
婦人相談所※1	人数	262 (9)	1 (0)	1 (0)	15 (0)	0 (0)	0 (0)
	割合	79.9%	0.3%	0.3%	62.5%	0.0%	0.0%
配偶者暴力相談支援センター ※2	人数	56 (7)	1 (0)	0 (0)	13 (0)	0 (0)	1 (0)
	割合	82.4%	1.5%	0.0%	54.2%	0.0%	4.2%

※1 第8次報告から調査、累計 352 人

※2 第16次報告から調査。累計母数は 92 人

(続き)

区分		総数(第5次から第19次まで)(516人)		
		関与なし	関与はあったが虐待の認識なし	関与あり虐待の認識もあり
福祉事務所	人数	321 (10)	86 (1)	15 (0)
	割合	62.2%	16.7%	2.9%
家庭児童相談室	人数	367 (9)	36 (0)	23 (2)
	割合	71.1%	7.0%	4.5%
民生委員・児童委員	人数	345 (11)	18 (0)	2 (0)
	割合	66.9%	3.5%	0.4%
保健所	人数	378 (8)	29 (3)	6 (0)
	割合	73.3%	5.6%	1.2%
市区町村の母子保健担当部署(保健センター等)	人数	182 (6)	219 (3)	18 (2)
	割合	35.3%	42.4%	3.5%
養育機関・教育機関	人数	189 (5)	194 (6)	25 (0)
	割合	36.6%	37.6%	4.8%
医療機関	人数	170 (5)	138 (3)	11 (2)
	割合	32.9%	26.7%	2.1%
助産師(医療機関に勤務する者を除く)	人数	316 (10)	22 (0)	0 (0)
	割合	61.2%	4.3%	0.0%
警察	人数	356 (11)	16 (0)	27 (0)
	割合	69.0%	3.1%	5.2%
婦人相談所※1	人数	277 (9)	1 (0)	1 (0)
	割合	78.7%	0.3%	0.3%
配偶者暴力相談支援センター※2	人数	69 (7)	1 (0)	1 (0)
	割合	75.0%	1.1%	1.1%

※1 第8次報告から調査。累計352人

※2 第16次報告から調査。累計母数は92人

⑥ 児童相談所及び関係機関の関与状況

児童相談所及び関係機関の関与状況について、心中以外の虐待死事例では「関係機関との接点があったが、虐待や虐待の可能性を認識していなかった事例」が18人（36.0%）と最も多く、次いで「児童相談所が関わっていた事例」が16人（32.0%）であった。第5次報告から第19次報告までの総数で見ると、「関係機関との接点があったが、虐待や虐待の可能性を認識していなかった事例」が多い。

また、心中による虐待死事例についても、「関係機関との接点があったが、虐待や虐待の可能性を認識していなかった事例」が15人（62.5%）と最も多く、次いで「児童相談所が関わっていた事例」が4人（16.7%）であった。第5次報告から第19次報告までの総数で見ると、心中以外の虐待死事例と同様、「関係機関との接点があったが、虐待や虐待の可能性を認識していなかった事例」が多い。

表 53 児童相談所及び関係機関の関与状況（心中以外の虐待死）

区分		第5次から 第18次まで	第19次	総数 (第5次から 第19次まで)
児童相談所が関わっていた事例(虐待以外の 養護相談などで関わっていた事例を含む)	人数	167(34)	16(7)	183(41)
	構成割合	22.4%	32.0%	23.0%
関係機関が虐待や虐待の可能性を認識してい たが児童相談所が関わっていなかった事例	人数	45(11)	4(2)	49(13)
	構成割合	6.0%	8.0%	6.1%
関係機関との接点はあったが、虐待や虐待の 可能性を認識していなかった事例	人数	290(43)	19(10)	309(53)
	構成割合	38.8%	38.0%	38.8%
関係機関と全く接点を持ちえなかった事例	人数	222(33)	11(2)	233(35)
	構成割合	29.7%	22.0%	29.2%
関係機関の関与不明	人数	23(0)	0(0)	23(0)
	構成割合	3.1%	0.0%	2.9%
計	人数	747(121)	50(21)	797(142)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

表 54 児童相談所及び関係機関の関与状況（心中による虐待死）

区分		第5次から 第18次まで	第19次	総数 (第5次から 第19次まで)
児童相談所が関わっていた事例(虐待以外の 養護相談などで関わっていた事例を含む)	人数	75(1)	4(0)	79(1)
	構成割合	15.2%	16.7%	15.3%
関係機関が虐待や虐待の可能性を認識してい たが児童相談所が関わっていなかった事例	人数	9(2)	3(0)	12(2)
	構成割合	1.8%	12.5%	2.3%
関係機関との接点はあったが、虐待や虐待の 可能性を認識していなかった事例	人数	261(7)	15(0)	276(7)
	構成割合	53.0%	62.5%	53.5%
関係機関と全く接点を持ちえなかった事例	人数	73(1)	2(0)	75(1)
	構成割合	14.8%	8.3%	14.5%
関係機関の関与不明	人数	74(1)	0(0)	74(1)
	構成割合	15.0%	0.0%	14.3%
計	人数	492(12)	24(0)	516(12)
	構成割合	100.0%	100.0%	100.0%

⑦ 関係機関間の連携状況

関係機関間の連携状況について、心中以外の虐待死事例で、関係機関間の連携が「なし」が20人（有効割合42.6%）、「あり」が27人（同57.4%）であった。連携があった事例における連携の状況については、「よく取れていた」が14人（同29.8%）と最も多く、次いで「まあまあ取れていた」が11人（同23.4%）であった。

また、心中による虐待死事例では、関係機関間の連携が「なし」が15人（同62.5%）、「あり」が9人（同37.5%）であった。連携があった事例における連携の状況については、「よく取れていた」が4人（同16.7%）「あまり取れていなかった」が3人（同12.5%）であった。

表 55 関係機関間の連携状況

区分		心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂含む)		
		人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
なし		20(7)	40.0%	42.6%	15(0)	62.5%	62.5%
あり		27(13)	54.0%	57.4%	9(0)	37.5%	37.5%
内訳 (再掲)	よく取れていた	14(7)	28.0%	29.8%	4(0)	16.7%	16.7%
	まあまあ取れていた	11(5)	22.0%	23.4%	2(0)	8.3%	8.3%
	あまり取れていなかった	0(0)	0.0%	0.0%	3(0)	12.5%	12.5%
	ほとんど取れていなかった	1(0)	2.0%	2.1%	0(0)	0.0%	0.0%
	不明	1(1)	2.0%		0(0)	0.0%	
小計		47(20)	94.0%	100.0%	24(0)	100.0%	100.0%
不明		3(1)	6.0%		0(0)	0.0%	
計		50(21)	100.0%	—	24(0)	100.0%	—

⑧ 関係機関間の情報提供（通告を除く）

関係機関間の通告を除く情報提供について、心中以外の虐待死事例で、関係機関から児童相談所へ情報提供のあったのは15人（30.0%）で、このうち「市区町村（虐待対応担当部署）」が9人（18.0%）で最も多かった。また、関係機関から市区町村（虐待対応担当部署）へ情報提供のあったのは21人（42.0%）で、「保健所・保健センター」が11人（22.0%）で最も多かった。さらに、関係機関から市区町村の母子保健担当部署（保健センター等）へ情報提供のあったのは、25人（50.0%）で、このうち「医療機関」が12人（24.0%）、「市区町村（虐待対応担当部署）」が8人（16.0%）であった。

心中による虐待死事例で、関係機関から児童相談所へ情報提供のあったのは1人（4.2%）であった。また、関係機関から市区町村（虐待対応担当部署）へ情報提供のあったのは5人（20.8%）で、このうち「市区町村子ども家庭総合支援拠点」が3人（12.5%）と多かった。関係機関から市区町村の母子保健担当部署（保健センター等）へ情報提供のあったのは4人（16.7%）で、「子育て世代包括支援センター」が2人（8.3%）と多かった。

表 56 関係機関から児童相談所への情報提供（通告を除く）

区分		心中以外の虐待死		心中による虐待死(未遂含む)	
		人数	構成割合	人数	構成割合
なし		35(13)	70.0%	23(0)	95.8%
あり		15(8)	30.0%	1(0)	4.2%
内訳 (再掲) (複数回答)	児童家庭支援センター	2(2)	4.0%	0(0)	0.0%
	母子生活支援施設	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	保育所・学校等	3(1)	6.0%	0(0)	0.0%
	上記以外の児童福祉施設	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	他の児童相談所	0(0)	0.0%	1(0)	4.2%
	配偶者暴力相談支援センター	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	福祉事務所	1(1)	2.0%	0(0)	0.0%
	市区町村(虐待対応担当部署)	9(4)	18.0%	0(0)	0.0%
	保健所・保健センター	1(0)	2.0%	0(0)	0.0%
	子育て世代包括支援センター	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	市区町村子ども家庭総合支援拠点	1(0)	2.0%	0(0)	0.0%
	警察	3(2)	6.0%	0(0)	0.0%
	検察	1(1)	2.0%	0(0)	0.0%
	医療機関	1(1)	2.0%	0(0)	0.0%
	民生委員・児童委員	1(0)	2.0%	0(0)	0.0%
	その他	1(1)	2.0%	0(0)	0.0%
計		50(21)	100.0%	24(0)	100.0%

表 57 関係機関から市区町村（虐待対応担当部署）への情報提供（通告を除く）

区分		心中以外の虐待死		心中による虐待死(未遂含む)	
		人数	構成割合	人数	構成割合
なし		29(9)	58.0%	19(0)	79.2%
あり		21(12)	42.0%	5(0)	20.8%
内訳 (再掲) (複数回答)	児童家庭支援センター	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	母子生活支援施設	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	保育所・学校等	6(3)	12.0%	1(0)	4.2%
	上記以外の児童福祉施設	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	児童相談所	6(3)	12.0%	1(0)	4.2%
	配偶者暴力相談支援センター	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	福祉事務所	6(4)	12.0%	0(0)	0.0%
	保健所・保健センター	11(7)	22.0%	1(0)	4.2%
	子育て世代包括支援センター	2(1)	4.0%	0(0)	0.0%
	市区町村子ども家庭総合支援拠点	1(1)	2.0%	3(0)	12.5%
	警察	3(2)	6.0%	0(0)	0.0%
	検察	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	医療機関	7(4)	14.0%	0(0)	0.0%
	民生委員・児童委員	3(2)	6.0%	2(0)	8.3%
その他	2(1)	4.0%	0(0)	0.0%	
計		50(21)	100.0%	24(0)	100.0%

表 58 関係機関から市区町村の母子保健担当部署（保健センター等）への情報提供（通告を除く）

区分		心中以外の虐待死		心中による虐待死(未遂含む)	
		人数	構成割合	人数	構成割合
なし		25(11)	50.0%	20(0)	83.3%
あり		25(10)	50.0%	4(0)	16.7%
内訳 (再掲) (複数回答)	児童家庭支援センター	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	母子生活支援施設	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	保育所・学校等	2(0)	4.0%	1(0)	4.2%
	上記以外の児童福祉施設	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	児童相談所	2(1)	4.0%	0(0)	0.0%
	配偶者暴力相談支援センター	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	福祉事務所	2(1)	4.0%	0(0)	0.0%
	市区町村(虐待対応担当部署)	8(2)	16.0%	1(0)	4.2%
	保健所・保健センター	4(2)	8.0%	0(0)	0.0%
	子育て世代包括支援センター	0(0)	0.0%	2(0)	8.3%
	市区町村子ども家庭総合支援拠点	3(1)	6.0%	1(0)	4.2%
	警察	1(1)	2.0%	0(0)	0.0%
	検察	1(0)	2.0%	0(0)	0.0%
	医療機関	12(4)	24.0%	1(0)	4.2%
民生委員・児童委員	1(0)	2.0%	1(0)	4.2%	
その他	3(2)	6.0%	1(0)	4.2%	
計		50(21)	100.0%	24(0)	100.0%

(7) 要保護児童対策地域協議会の活用状況

① 死亡事例発生地域における要保護児童対策地域協議会の活用状況

死亡事例発生地域における要保護児童対策地域協議会の活用状況について、心中以外の虐待死事例では、「よく活用している」が31人（63.3%）、「ある程度活用している」が14人（28.6%）であり、「よく活用している」と「ある程度活用している」を合わせると、約9割の事例発生地域で要保護児童対策地域協議会が活用されていた。

また、心中による虐待死事例では、「よく活用している」が20人（83.3%）、「ある程度活用している」が4人（16.7%）であり、「よく活用している」と「ある程度活用している」を合わせると、すべての事例の発生地域で要保護児童対策地域協議会が活用されていた。

要保護児童対策地域協議会の活用状況と死亡事例における関係機関の連携状況について、心中以外の虐待死事例では、本調査の検証対象となった事例についての「関係機関の連携状況が連携なし」が19人のうち、一般的な要保護児童対策地域協議会の活用度については要保護児童対策地域協議会を「よく活用している」が11人、「ある程度活用している」が6人であった。「関係機関の連携あり」は27人のうち、要保護児童対策地域協議会を「よく活用している」が17人、「ある程度活用している」が8人であった。

また、心中による虐待死事例では、本調査の検証対象となった事例についての「関係機関の連携状況が連携なし」は15人のうち、一般的に要保護児童対策地域協議会を「よく活用している」が14人、「ある程度活用している」が1人であった。「関係機関の連携あり」は9人のうち、要保護児童対策地域協議会を「よく活用している」が6人、「ある程度活用している」が3人であった。

表 59 死亡事例発生地域における要保護児童対策地域協議会の活用状況

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死(未遂含む)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
よく活用している	31 (13)	63.3%	20 (0)	83.3%
ある程度活用している	14 (5)	28.6%	4 (0)	16.7%
あまり活用していない	3 (1)	6.1%	0 (0)	0.0%
ほとんど活用していない	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
不明	1 (1)	2.0%	0 (0)	0.0%
計	49 (20)	100.0%	24 (0)	100.0%

※ 要保護児童対策地域協議会未設置自治体が1自治体あるため、心中以外の虐待死の人数は49人

表 60 要保護児童対策地域協議会の活用状況と死亡事例における関係機関の連携状況（心中以外の虐待死）

区分	連携なし	連携あり					不明	小計	不明	計
		よく取れていた	まあまあ取れていた	あまり取れていなかった	ほとんど取れていなかった	不明				
人数										
よく活用している	11(4)	11(5)	6(3)	0(0)	0(0)	0(0)	17(8)	3(1)	31(13)	
ある程度活用している	6(2)	3(2)	4(1)	0(0)	1(0)	0(0)	8(3)	0(0)	14(5)	
あまり活用していない	2(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	3(1)	
ほとんど活用していない	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
不明	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	1(1)	0(0)	1(1)	
計	19(6)	14(7)	11(5)	0(0)	1(0)	1(1)	27(13)	3(1)	49(20)	

※ 要保護児童対策地域協議会未設置自治体が1自治体あるため、心中以外の虐待死の人数は49人

表 61 要保護児童対策地域協議会の活用状況と死亡事例における関係機関の連携状況（心中による虐待死）

区分	連携なし	連携あり					不明	小計	不明	計
		よく取れていた	まあまあ取れていた	あまり取れていなかった	ほとんど取れていなかった	不明				
人数										
よく活用している	14(0)	2(0)	1(0)	3(0)	0(0)	0(0)	6(0)	0(0)	20(0)	
ある程度活用している	1(0)	2(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	3(0)	0(0)	4(0)	
あまり活用していない	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
ほとんど活用していない	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
不明	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
計	15(0)	4(0)	2(0)	3(0)	0(0)	0(0)	9(0)	0(0)	24(0)	

② 要保護児童対策地域協議会における本事例の検討状況

死亡事例発生地域の要保護児童対策地域協議会における本事例の検討状況については、心中以外の虐待死事例では、検討「あり」が15人(30.6%)、「なし」が34人(69.4%)で、約7割の事例で検討がなされていなかった。検討「あり」の事例のうち、「実務者会議」で検討されていた事例、「個別ケース検討会議」で検討されていた事例、ともに11人(22.4%)であった。また、「要保護児童」として扱われていた事例は9人(18.4%)であった。

心中による虐待死事例では、要保護児童対策地域協議会で検討されていた事例は5人(20.8%)であった。

表 62 要保護児童対策地域協議会における本事例についての検討会議状況

区分		心中以外の虐待死		心中による虐待死(未遂含む)	
		人数	構成割合	人数	構成割合
あり		15(8)	30.6%	5(0)	20.8%
内訳 (再掲) (複数回答)	代表者会議	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
	実務者会議	11(5)	22.4%	3(0)	12.5%
	個別ケース検討会議	11(6)	22.4%	3(0)	12.5%
	その他	2(1)	4.1%	0(0)	0.0%
なし		34(12)	69.4%	19(0)	79.2%
計		49(20)	100.0%	24(0)	100.0%

※ 要保護児童対策地域協議会未設置自治体が1自治体あるため、心中以外の虐待死の人数は49人

表 63 要保護児童対策地域協議会における本事例についての検討取り扱い状況

区分		心中以外の虐待死		心中による虐待死(未遂含む)	
		人数	構成割合	人数	構成割合
あり		15(8)	30.6%	5(0)	20.8%
内訳 (再掲) (複数回答)	要保護児童	9(4)	18.4%	3(0)	12.5%
	要支援児童	4(2)	8.2%	0(0)	0.0%
	特定妊婦	1(1)	2.0%	0(0)	0.0%
	その他	1(1)	2.0%	2(0)	8.3%
なし		34(12)	69.4%	19(0)	79.2%
計		49(20)	100.0%	24(0)	100.0%

※ 要保護児童対策地域協議会未設置自治体が1自治体あるため、心中以外の虐待死の人数は49人

(8) こどもの死亡後の対応状況

① 本事例に関する行政機関内部における検証の実施状況

各事例に関する行政機関内部における検証の実施状況について、心中以外の虐待死事例では、検証を「実施していない」が31人(62.0%)、「実施した」が8人(16.0%)、調査時点「実施中」が11人(22.0%)であり、検証を実施している事例は4割弱であった。

また、心中による虐待死事例については、検証を「実施していない」が16人(66.7%)、「実施した」が8人(33.3%)であった。

表 64 本事例に関する行政機関内部における検証の実施状況

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死(未遂含む)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
実施していない	31 (13)	62.0%	16 (0)	66.7%
実施した	8 (1)	16.0%	8 (0)	33.3%
実施中	11 (7)	22.0%	0 (0)	0.0%
計	50 (21)	100.0%	24 (0)	100.0%

② 第三者による本事例についての検証の実施状況

第三者による本事例についての検証の実施状況について、心中以外の虐待死事例では、検証を「実施していない」が29人(58.0%)、「実施した」が6人(12.0%)、調査時点「実施中」が15人(30.0%)であり、検証を実施している事例は全体の4割強であった。

また、心中による虐待死事例では、検証を「実施していない」が15人(62.5%)、「実施した」が4人(16.7%)、調査時点「実施中」が5人(20.8%)であった。

表 65 第三者による本事例についての検証の実施状況

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死(未遂含む)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
実施していない	29 (12)	58.0%	15 (0)	62.5%
実施した	6 (1)	12.0%	4 (0)	16.7%
実施中	15 (8)	30.0%	5 (0)	20.8%
計	50 (21)	100.0%	24 (0)	100.0%

(9) 0日・0か月児の死亡事例について（心中以外の虐待死）

令和3年度に把握した心中以外の虐待死事例（50人）のうち、0歳児の死亡人数は24人であり、心中以外の虐待死による死亡人数全体の約5割を占めた。その中でも、生後24時間に満たない死亡と考えられる日齢0日児の死亡事例（以下「0日児事例」という。）と、日齢1日以上月齢1か月未満児の死亡事例（以下「0か月児事例」という。）を合わせた0日・0か月児の心中以外の虐待死事例（以下「0日・0か月児事例」という。）が0歳児の死亡事例の中でも一定の割合を占めていることを踏まえ、以下に取りまとめた。

なお、令和3年度に把握した0日・0か月児事例については、0日児3人、0か月児3人であった。

① 0歳児及び0日・0か月児事例の発生状況

0歳児の心中以外の虐待死事例は、24人で約5割を占めており、第1次報告から第18次報告と比較すると、ほぼ同じ割合となっている。

また、0歳児の死亡事例のうち、0日・0か月児事例は6人であった。

表 66 0歳児の心中以外の虐待死事例の死亡人数の推移（心中以外の虐待死）（単位：人）

区分	第1次から18次まで	第19次	総数(第1次から第19次まで)
人数(人)	455(62)	24(1)	479
割合	48.5%	48.0%	48.4%

※ 割合：各年次報告における心中以外の虐待死事例に占める0歳児の割合

表 67 0日・0か月児事例の死亡人数の推移と0歳児の心中以外の虐待死事例における割合（単位：人）

区分	第1次から18次まで	第19次	総数(第1次から第19次まで)
0日	173(17)	3(0)	176
0か月	34(3)	3(2)	37
総数	207(20)	6(2)	213
構成割合	45.5%	25.0%	44.5%

0歳	455	24(1)	479
----	-----	-------	-----

表 68 0日・0か月児事例の日齢別死亡人数

区分	人数
0日	3(0)
1～9日	1(0)
10日以上	1(1)
不明	1(1)
計	6(2)

② 0日・0か月児事例の概要

ア 0日・0か月児事例の加害者

0日・0か月児事例における虐待を行った加害者は、0日児、0か月児ともに「実母」が最も多かった。また、第1次報告から第19次報告までの総数でも、「実母」が加害者であった事例は186人(87.3%)であった。

表 69 0日・0か月児事例の加害者 (単位：人)

区分	0日児	0か月児
実母	2 (0)	3 (2)
実父	0 (0)	0 (0)
実母・実父	0 (0)	0 (0)
その他	0 (0)	0 (0)
不明	1 (0)	0 (0)
計	3 (0)	3 (2)

表 70 0日・0か月児事例の加害者 (単位：人)

区分	第1次から第18次まで				第19次				総数(第1次から第19次まで)					
	0日児		0か月児		0日児		0か月児		0日児		0か月児		合計	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
実母	154 (12)	89.0%	27 (2)	79.4%	2 (0)	66.7%	3 (2)	100.0%	156 (12)	88.6%	30 (4)	81.1%	186 (16)	87.3%
実父	1 (0)	0.6%	2 (0)	5.9%	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%	1 (0)	0.6%	2 (0)	5.4%	3 (0)	1.4%
実母・実父	9 (2)	5.2%	4 (0)	11.8%	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%	9 (2)	5.1%	4 (0)	10.8%	13 (2)	6.1%
その他	4 (2)	2.3%	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%	4 (2)	2.3%	0 (0)	0.0%	4 (2)	1.9%
不明	5 (1)	2.9%	1 (1)	2.9%	1 (0)	33.3%	0 (0)	0.0%	6 (1)	3.4%	1 (1)	2.7%	7 (2)	3.3%
計	173 (17)	100.0%	34 (3)	100.0%	3 (0)	100.0%	3 (2)	100.0%	176 (17)	100.0%	37 (5)	100.0%	213 (22)	100.0%

イ 死亡につながった虐待の種類

0日・0か月児事例における虐待の種類は、0日児事例は、「身体的虐待」3人（100.0%）、0か月児事例は、「ネグレクト」が1人（33.3%）、不明が2人（66.7%）であった。

表 71 0日・0か月児事例の虐待の種類

区分	第7次から第18次まで				第19次				総数(第7次から第19次まで)			
	0日児		0か月児		0日児		0か月児		0日児		0か月児	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
身体的虐待	38 (3)	33.9%	15 (0)	60.0%	3 (0)	100.0%	0 (0)	0.0%	41	35.7%	15	53.6%
ネグレクト	54 (8)	48.2%	8 (1)	32.0%	0 (0)	0.0%	1 (1)	33.3%	54	47.0%	9	32.1%
不明	20 (6)	17.9%	2 (2)	8.0%	0 (0)	0.0%	2 (1)	66.7%	20	17.4%	4	14.3%
計	112 (17)	100.0%	25 (3)	100.0%	3 (0)	100.0%	3 (2)	100.0%	115	100.0%	28	100.0%

ウ 虐待の種類（遺棄）について

「妊娠期・周産期の問題」にて「遺棄」があった中で、身体的虐待としての「遺棄」により死亡した0日児事例は3人であった。

表 72 妊娠期・周産期の問題と虐待の種類（遺棄）について

区分	0日児		総数	
	人数	構成割合	人数	構成割合
妊娠期・周産期の問題にて遺棄	3(0)	100.0%	15(1)	100.0%
ネグレクト(遺棄)	0(0)	0.0%	9(1)	60.0%
身体的虐待	3(0)	100.0%	5(0)	33.3%
計	3(0)	100.0%	15(1)	100.0%

エ 妊娠期・周産期の問題（遺棄）の有無と遺棄された場所

0日・0か月児事例において、「遺棄あり」は0日児事例3人であり、遺棄された場所は「自宅」2人、「自宅外」が1人であった。0か月事例は「遺棄あり」は1人、遺棄された場所は「自宅外」であった。

表 73 0日・0か月児事例における妊娠期・周産期の問題（遺棄）の有無と遺棄された場所

区分	第1次から第18次まで				第19次			
	0日児		0か月児		0日児		0か月児	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
遺棄なし	12 (0)	6.9%	18 (1)	52.9%	0 (0)	0.0%	2 (1)	66.7%
遺棄あり	158 (17)	91.3%	15 (1)	44.1%	3 (0)	100.0%	1 (1)	33.3%
自宅	77 (8)	44.5%	7 (0)	20.6%	2 (0)	66.7%	0 (0)	0.0%
自宅外	81 (9)	46.8%	8 (1)	23.5%	1 (0)	33.3%	1 (1)	33.3%
不明	3 (0)	1.7%	1 (1)	2.9%	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
計	173 (17)	100.0%	34 (3)	100.0%	3 (0)	100.0%	3 (2)	100.0%

区分	総数(第1次から19次まで)					
	0日児		0か月児		合計	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
遺棄なし	12 (0)	6.8%	20 (2)	54.1%	32 (2)	15.0%
遺棄あり	161 (17)	91.5%	16 (2)	43.2%	177 (19)	83.1%
自宅	79 (8)	44.9%	7 (0)	18.9%	86 (8)	40.4%
自宅外	82 (9)	46.6%	9 (2)	24.3%	91 (11)	42.7%
不明	3 (0)	1.7%	1 (1)	2.7%	4 (1)	1.9%
計	176 (17)	100.0%	37 (5)	100.0%	213 (22)	100.0%

オ 直接の死因

0日・0か月児事例における直接の死因について、第1次報告から第19次報告までの累計をみると、「窒息（絞殺以外）」による死亡事例が67人（有効割合45.0%）と最も多かった。

表 74 0日・0か月児事例における直接の死因

区分	第1次から第18次まで						第19次					
	0日児			0か月児			0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
出生後、 放置	29 (2)	16.8%	24.4%	4 (0)	11.8%	15.4%	0 (0)	0.0%	0.0%	1 (1)	33.3%	100.0%
窒息 (絞殺以外)	55 (2)	31.8%	46.2%	12 (0)	35.3%	46.2%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
絞殺	8 (0)	4.6%	6.7%	5 (0)	14.7%	19.2%	1 (0)	33.3%	33.3%	0 (0)	0.0%	0.0%
その他	27 (4)	15.6%	22.7%	5 (0)	14.7%	19.2%	2 (0)	66.7%	66.7%	0 (0)	0.0%	0.0%
不明	54 (9)	31.2%	/	8 (3)	23.5%	/	0 (0)	0.0%	/	2 (1)	66.7%	/
計	173 (17)	100.0%	—	34 (3)	100.0%	—	3 (0)	100.0%	—	3 (2)	100.0%	—

区分	総数(第1次から第19次まで)								
	0日児			0か月児			合計		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
出生後、 放置	29 (2)	16.5%	23.8%	5 (1)	13.5%	18.5%	34 (3)	16.0%	22.8%
窒息 (絞殺以外)	55 (2)	31.3%	45.1%	12 (0)	32.4%	44.4%	67 (2)	31.5%	45.0%
絞殺	9 (0)	5.1%	7.4%	5 (0)	13.5%	18.5%	14 (0)	6.6%	9.4%
その他	29 (4)	16.5%	23.8%	5 (0)	13.5%	18.5%	34 (4)	16.0%	22.8%
不明	54 (9)	30.7%	/	10 (4)	27.0%	/	64 (13)	30.0%	/
計	176 (17)	100.0%	—	37 (5)	100.0%	—	213 (22)	100.0%	—

カ 事例が発覚した経緯

0日・0か月児事例が発覚した経緯は、0日児事例で「その他」が2人（66.7%）、0か月児事例で「近隣住民・知人が遺体を発見」「家族その他の同居者が遺体を発見」「その他」がそれぞれ1人（33.3%）であった。「その他」としては、「警察が関係者からの情報提供を受け、居所を捜査し遺体を発見」「病院に救急搬送されたのち死亡確認」があった。

表 75 0日・0か月児事例が発覚した経緯

区分	0日児		0か月児	
	人数	構成割合	人数	構成割合
近隣住民・知人が遺体を発見	0(0)	0.0%	1(0)	33.3%
家族その他の同居者が遺体を発見	1(0)	33.3%	1(1)	33.3%
その他	2(0)	66.7%	1(1)	33.3%
計	3(0)	100.0%	3(2)	100.0%

キ 出産した場所

0日・0か月児事例における実母が本児を出産した場所について、第1次報告から第19次報告までの累計で見ると、0日・0か月児事例全体における「自宅」※1での出産が126人（有効割合64.6%）、特に、0日児事例における「自宅」での出産が115人（同72.8%）と高い割合を占めていた。また、0日児事例において、第1次報告から第19次報告までの総数で見ると、医療機関での出産は0人であった。

表 76 0日・0か月児事例における出産場所

区分	第1次から第18次まで						第19次					
	0日児			0か月児			0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
自宅	115 (11)	66.5%	73.2%	10 (1)	29.4%	29.4%	0 (0)	0.0%	0.0%	1 (0)	33.3%	33.3%
自宅外	42 (4)	24.3%	26.8%	6 (0)	17.6%	17.6%	1 (0)	33.3%	100.0%	1 (1)	33.3%	33.3%
医療機関	0 (0)	0.0%	0.0%	18 (2)	52.9%	52.9%	0 (0)	0.0%	0.0%	1 (1)	33.3%	33.3%
不明	16 (2)	9.2%	/	0 (0)	0.0%	/	2 (0)	66.7%	/	0 (0)	0.0%	/
計	173 (17)	100.0%	—	34 (3)	100.0%	—	3 (0)	100.0%	—	3 (2)	100.0%	—

区分	総数(第1次から第19次まで)								
	0日児			0か月児			合計		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
自宅	115 (11)	65.3%	72.8%	11 (1)	29.7%	29.7%	126 (12)	59.2%	64.6%
自宅外	43 (4)	24.4%	27.2%	7 (1)	18.9%	18.9%	50 (5)	23.5%	25.6%
医療機関	0 (0)	0.0%	0.0%	19 (3)	51.4%	51.4%	19 (3)	8.9%	9.7%
不明	18 (2)	10.2%	/	0 (0)	0.0%	/	18 (2)	8.5%	/
計	176 (17)	100.0%	—	37 (5)	100.0%	—	213 (22)	100.0%	—

※1 自宅とは、「専門家による介助がない自宅分娩のこと」

表 77 0日・0か月児事例における自宅内での出産場所

区分	第1次から第18次まで				第19次			
	0日児		0か月児		0日児		0か月児	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
トイレ	44 (4)	38.3%	1 (0)	10.0%	0 (0)	—	0 (0)	0.0%
風呂場	11 (0)	9.6%	0 (0)	0.0%	0 (0)	—	0 (0)	0.0%
その他	20 (5)	17.4%	3 (0)	30.0%	0 (0)	—	0 (0)	0.0%
不明	40 (3)	34.8%	6 (1)	60.0%	0 (0)	—	1 (0)	100.0%
計	115 (12)	100.0%	10 (1)	100.0%	0 (0)	—	1 (0)	100.0%

区分	総数(第1次から第19次まで)					
	0日児		0か月児		合計	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
トイレ	44 (4)	38.3%	1 (0)	9.1%	45 (4)	35.7%
風呂場	11 (0)	9.6%	0 (0)	0.0%	11 (0)	8.7%
その他	20 (5)	17.4%	3 (0)	27.3%	23 (5)	18.3%
不明	40 (3)	34.8%	7 (1)	63.6%	47 (4)	37.3%
計	115 (12)	100.0%	11 (1)	100.0%	126 (13)	100.0%

③ 0日・0か月児事例における養育者の状況

ア 実母の年齢

実母の年齢は、0日児事例は「19歳以下」「20～24歳」「25～29歳」がそれぞれ1人（33.3%）、0か月児事例は「20～24歳」「25～29歳」「30～34歳」がそれぞれ1人（33.3%）であった。

また、第1次報告から第19次報告までの総数でみると、0日・0か月児事例の実母の年齢は、0日児事例では、「19歳以下」が48人（有効割合27.9%）と最も多く、0か月児事例では、「35～39歳」が12人（同32.4%）と最も多かった。

表 78 0日・0か月児事例における実母の年齢

区分	第1次から第18次まで						第19次					
	0日児			0か月児			0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
19歳以下	47 (6)	27.2%	27.8%	4 (0)	11.8%	11.8%	1 (0)	33.3%	33.3%	0 (0)	0.0%	0.0%
20～24歳	34 (1)	19.7%	20.1%	6 (2)	17.6%	17.6%	1 (0)	33.3%	33.3%	1 (0)	33.3%	33.3%
25～29歳	27 (4)	15.6%	16.0%	5 (1)	14.7%	14.7%	1 (0)	33.3%	33.3%	1 (1)	33.3%	33.3%
30～34歳	26 (3)	15.0%	15.4%	7 (0)	20.6%	20.6%	0 (0)	0.0%	0.0%	1 (1)	33.3%	33.3%
35～39歳	22 (2)	12.7%	13.0%	12 (0)	35.3%	35.3%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
40歳以上	13 (0)	7.5%	7.7%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
不明	4 (1)	2.3%	/	0 (0)	0.0%	/	0 (0)	0.0%	/	0 (0)	0.0%	/
計	173 (17)	100.0%	—	34 (3)	100.0%	—	3 (0)	100.0%	—	3 (2)	100.0%	—

区分	総数(第1次から第19次まで)								
	0日児			0か月児			合計		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
19歳以下	48 (6)	27.3%	27.9%	4 (0)	10.8%	10.8%	52 (6)	24.4%	24.9%
20～24歳	35 (1)	19.9%	20.3%	7 (2)	18.9%	18.9%	42 (3)	19.7%	20.1%
25～29歳	28 (4)	15.9%	16.3%	6 (2)	16.2%	16.2%	34 (6)	16.0%	16.3%
30～34歳	26 (3)	14.8%	15.1%	8 (1)	21.6%	21.6%	34 (4)	16.0%	16.3%
35～39歳	22 (2)	12.5%	12.8%	12 (0)	32.4%	32.4%	34 (2)	16.0%	16.3%
40歳以上	13 (0)	7.4%	7.6%	0 (0)	0.0%	0.0%	13 (0)	6.1%	6.2%
不明	4 (1)	2.3%	/	0 (0)	0.0%	/	4 (1)	1.9%	/
計	176 (17)	100.0%	—	37 (5)	100.0%	—	213 (22)	100.0%	—

イ 家庭の状況について

0日・0か月児事例における家庭の状況（同居の養育者の状況）について、0日児事例では、「ひとり親（離婚）」「その他」「不明」がそれぞれ1人（33.3%）、0か月児事例では、「ひとり親（未婚）」が2人（66.7%）、「ひとり親（離婚）」が1人（33.3%）であった。

表 79 0日・0か月児事例における同居の養育者の状況

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
実父母	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
ひとり親(離婚)	1(0)	33.3%	50.0%	1(0)	33.3%	33.3%
ひとり親(未婚)	0(0)	0.0%	0.0%	2(2)	66.7%	66.7%
ひとり親(死別)	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
ひとり親(別居)	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
内縁関係(交際相手を含む)	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
実父母のいずれかとその再婚者	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
養父母	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
その他	1(0)	33.3%	50.0%	0(0)	0.0%	0.0%
不明	1(0)	33.3%		0(0)	0.0%	
計	3(0)	100.0%	-	3(2)	100.0%	-

また、祖父母の同居状況については、0日児事例では「同居なし」が2人（66.7%）、「同居あり」が1人（33.3%）で、「父方祖母」であった。0か月児事例では、すべて「同居なし」であった。

表 80 0日・0か月児事例における祖父母との同居状況

区分	0日児		0か月児	
	人数	構成割合	人数	構成割合
同居なし	2(0)	66.7%	3(2)	100.0%
同居あり	1(0)	33.3%	0(0)	0.0%
母方祖母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
母方祖父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
母方祖父母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
父方祖母	1(0)	33.3%	0(0)	0.0%
父方祖父	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
父方祖父母	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
不明	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
計	3(0)	100.0%	3(2)	100.0%

ウ 家庭の経済状態について

0日・0か月児事例における家庭の経済状況について、当該世帯の家計を支えている主たる者は、0日児事例では「実母」「実父」がともに1人（有効割合 50.0%）であった。0か月児事例では「実母」が2人（同 100.0%）であった。

表 81 家計を支えている主たる者

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
実母	1(0)	33.3%	50.0%	2(1)	66.7%	100.0%
実父	1(0)	33.3%	50.0%	0(0)	0.0%	0.0%
継母	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
継父	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
養母	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
養父	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
母方祖母	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
母方祖父	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
父方祖母	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
父方祖父	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
実母の交際相手	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
実父の交際相手	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
その他	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
不明	1(0)	33.3%		1(1)	33.3%	
計	3(0)	100.0%	-	3(2)	100.0%	-

0日児・0か月児事例における世帯収入の状況は、0日児事例では「不明」が2人、「市区町村民税非課税世帯（所得割、均等割ともに非課税）」が1人であった。0か月児事例では「生活保護世帯」と「市区町村民税非課税世帯（所得割、均等割ともに非課税）」「不明」がそれぞれ1人であった。

表 82 世帯収入の状況

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
生活保護世帯	0(0)	0.0%	0.0%	1(1)	33.3%	50.0%
市区町村民税非課税世帯 （所得割、均等割ともに非課税）	1(0)	33.3%	100.0%	1(0)	33.3%	50.0%
市区町村民税課税世帯（所得割のみ非課税）	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
市区町村民税課税世帯（年収500万円未満）	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
年収500万円以上	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
不明	2(0)	66.7%		1(1)	33.3%	
計	3(0)	100.0%	-	3(2)	100.0%	-

0日児・0か月児事例における実母の就業状況は、0日児事例では「無職」が2人「パート」が1人、0か月児事例では「不明」が2人、「無職」が1人であった。

表 83 実母の就業状況

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
無職	2(0)	66.7%	66.7%	1(1)	33.3%	100.0%
フルタイム	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
パート	1(0)	33.3%	33.3%	0(0)	0.0%	0.0%
不明	0(0)	0.0%		2(1)	66.7%	
計	3(0)	100.0%	-	3(2)	100.0%	-

エ 実母の妊娠期・周産期における問題について

0日・0か月児事例における実母の妊娠期の問題については、0日児事例では、「遺棄」3人（100.0%）、0か月児事例では、「予期しない妊娠／計画していない妊娠」が3人（100.0%）であった。

表 84 0日・0か月児事例における実母の妊娠期・周産期の問題（複数回答）

区分	0日児(3人)		0か月児(3人)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
切迫流産・切迫早産	0(0)	0.0%	1(1)	33.3%
妊娠高血圧症候群	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
喫煙の常習	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
アルコールの常習	0(0)	0.0%	1(1)	33.3%
違法薬物の使用／薬物の過剰摂取等	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
マタニティブルーズ	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
予期しない妊娠／計画していない妊娠	2(0)	66.7%	3(2)	100.0%
若年(10代)妊娠	1(0)	33.3%	0(0)	0.0%
お腹をたたく等の墮胎行為	0(0)	0.0%	1(1)	33.3%
妊娠届の未提出(母子健康手帳の未交付)	2(0)	66.7%	2(1)	66.7%
妊婦健康診査未受診	2(0)	66.7%	2(1)	66.7%
その他(妊娠期の母体側の問題)	0(0)	0.0%	1(1)	33.3%
遺棄	3(0)	100.0%	1(1)	33.3%
墜落分娩	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
飛び込み出産	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
帝王切開	0(0)	0.0%	1(1)	33.3%
医療機関からの連絡	0(0)	0.0%	1(1)	33.3%
その他(周産期の母体側の問題)	0(0)	0.0%	1(1)	33.3%
本児を妊娠時の特定妊婦としての支援	0(0)	0.0%	1(1)	33.3%

オ 実父の状況について

0日・0か月児事例における実父の状況について、0日児事例では、実父は「不明」が2人、「いる（別居）」が1人であった。0か月児事例では、実父は「いる（別居）」「いない」「不明」がそれぞれ1人であった。

第1次報告から第19次報告までの総数でみると、0日・0か月児事例では実父の年齢が「不明」が102人と約6割を占めていた。

表 85 0日・0か月児事例の実父の状況

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
いる(同居)	0(0)	0.0%	0.0%	0(0)	0.0%	0.0%
いる(別居)	1(0)	33.3%	100.0%	1(1)	33.3%	50.0%
いない	0(0)	0.0%	0.0%	1(0)	33.3%	50.0%
不明	2(0)	66.7%		1(1)	33.3%	
計	3(0)	100.0%	-	3(2)	100.0%	-

表 86 0日・0か月児事例の実父の年齢

区分	第1次から第18次まで						第19次					
	0日児			0か月児			0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
19歳以下	12	8.6%	28.6%	1	3.7%	4.5%	1	100.0%	100.0%	0	0.0%	0.0%
20～24歳	7	5.0%	16.7%	3	11.1%	13.6%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
25～29歳	3	2.2%	7.1%	2	7.4%	9.1%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
30～34歳	4	2.9%	9.5%	3	11.1%	13.6%	0	0.0%	0.0%	1	100.0%	100.0%
35～39歳	3	2.2%	7.1%	6	22.2%	27.3%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
40歳以上	13	9.4%	31.0%	7	25.9%	31.8%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
不明	97	69.8%		5	18.5%		0	0.0%		0	0.0%	
計	139	100.0%	-	27	100.0%	-	1	100.0%	-	1	100.0%	-

区分	総数(第1次から第19次まで)								
	0日児			0か月児			合計		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
19歳以下	13	9.3%	30.2%	1	3.6%	4.3%	14	8.3%	21.2%
20～24歳	7	5.0%	16.3%	3	10.7%	13.0%	10	6.0%	15.2%
25～29歳	3	2.1%	7.0%	2	7.1%	8.7%	5	3.0%	7.6%
30～34歳	4	2.9%	9.3%	4	14.3%	17.4%	8	4.8%	12.1%
35～39歳	3	2.1%	7.0%	6	21.4%	26.1%	9	5.4%	13.6%
40歳以上	13	9.3%	30.2%	7	25.0%	30.4%	20	11.9%	30.3%
不明	97	69.3%		5	17.9%		102	60.7%	
計	140	100.0%	-	28	100.0%	-	168	100.0%	-

※ 実父の有無について「いない」「不明」と回答した事例を除く

④ 0日・0か月児事例における関係機関の関与状況

0日・0か月児事例における関係機関の関与状況について、0日児事例では関係機関の関与があった事例がなかった。0か月児事例では、「児童相談所」「市区町村（虐待対応担当部署）」「福祉事務所」「市区町村の母子保健担当部署（保健センター等）」「医療機関」がそれぞれ1人（33.3%）の関与があった。

表 87 0日・0か月児事例の関係機関の関与あり

区分	0日児(3人)		0か月児(3人)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
児童相談所	0(0)	0.0%	1(1)	33.3%
市区町村(虐待対応担当部署)	0(0)	0.0%	1(1)	33.3%
福祉事務所	0(0)	0.0%	1(1)	33.3%
家庭児童相談室	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
民生児童委員	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
保健所	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
市区町村の母子保健担当部署(保健センター等)	0(0)	0.0%	1(1)	33.3%
養育機関・教育機関	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
医療機関	0(0)	0.0%	1(1)	33.3%
助産師	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
警察	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
婦人相談所	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
配偶者暴力相談支援センター	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%

(10) 精神疾患のある養育者における事例について

① 精神疾患のある実母における事例の発生状況

本報告において、「精神疾患のある養育者」とは、医師による診断のある者とする（以下「精神疾患あり」という）。一方、精神疾患に関する診断名がついていない養育者（その疑いや可能性のある場合を含む。）については、「精神疾患のない養育者」（以下「精神疾患なし」という。）とし、それ以外の者は「不明」とする。

精神疾患のある養育者の中で実母が加害者であった（以下「精神疾患のある実母」という。）事例について、第5次報告から第19次報告までの累計では166人であった。そのうち、心中以外の虐待死事例は68人、心中による虐待死事例は98人であった。

一方、精神疾患のない養育者の中で実母が加害者であった（以下「精神疾患のない実母」という。）事例について、第5次報告から第19次報告までの累計では353人であり、そのうち、心中以外の虐待死事例は250人、心中による虐待死事例は103人であった。

表 88 虐待の加害者が実母であった事例数とそのこどもの死亡人数の推移

(単位：人)

区分		第5次から第18次まで	第19次	総数(第5次から第19次まで)
心中以外の虐待死	精神疾患あり	62(4)	6(2)	68(6)
	精神疾患なし	235(41)	15(5)	250(46)
	不明	220(30)	8(3)	228(33)
心中による虐待死 (未遂含む)	精神疾患あり	91(1)	7(0)	98(1)
	精神疾患なし	96(3)	7(0)	103(3)
	不明	174(1)	5(0)	179(1)
総数		878(80)	48(10)	926(90)

② 実母の状況

ア 診断名（疾病、傷害及び死因分類）

精神疾患のある実母の診断名（疾病、傷害及び死因分類）について、第5次報告から第19次報告までの累計をみると、心中以外の虐待死事例では、うつ病や双極性感情障害といった「気分〔感情〕障害」が33例と最も多く、心中による虐待死事例についても、「気分〔感情〕障害」が54例と最も多かった。

なお、「詳細不明の精神障害」は、精神科の受診歴はあるが、地方公共団体が正確な診断名を把握していないもの、検査中などの理由で確定診断がつけられる前に虐待死事例が発生したものであった。

表 89 精神疾患のある実母の診断名（疾病、傷害及び死因分類）（複数回答）

（第5次報告から第19次報告までの累計）^{注7)}

（単位：例）

区分	心中以外の虐待死 (67例)	心中による虐待死 (未遂含む)(84例)
症状性を含む器質性精神障害	0(0)	0(0)
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	1(1)	0(0)
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	23(0)	16(1)
気分〔感情〕障害	33(3)	54(1)
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	12(2)	19(0)
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	4(0)	6(0)
成人の人格及び行動の障害	3(0)	3(0)
知的障害<精神発達遅滞>	3(0)	0(0)
心理的発達の障害	1(0)	1(0)
小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	1(0)	0(0)
詳細不明の精神障害	7(0)	7(0)

^{注7)} 回答のあった診断名について、世界保健機関（WHO）により定められた「疾病及び関連保健問題の国際統計分類 第10回改訂」（ICD-10）に基づいて我が国で使用する「疾病、傷害及び死因分類」をもとに分類した。

イ こどもの死亡時における実母の年齢

こどもの死亡時における実母の年齢について、第5次報告から第19次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「35歳～39歳」が20人(29.4%)と最も多く、次いで「30歳～34歳」が19人(27.9%)であった。また、心中による虐待死事例は、「40歳以上」が36人(36.7%)と最も多く、次いで「35歳～39歳」が35人(35.7%)であった。心中以外の虐待死の事例、心中による虐待死の事例ともに、30歳以上が全体の7割以上を占めた。

表 90 こどもの死亡時における実母の年齢 (精神疾患あり) (第5次報告から第19次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死 (未遂含む)		総数	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
19歳以下	1(0)	1.5%	0(0)	0.0%	1(0)	0.6%
20歳～24歳	6(2)	8.8%	4(0)	4.1%	10(2)	6.0%
25歳～29歳	9(0)	13.2%	10(0)	10.2%	19(0)	11.4%
30歳～34歳	19(1)	27.9%	13(0)	13.3%	32(1)	19.3%
35歳～39歳	20(0)	29.4%	35(0)	35.7%	55(0)	33.1%
40歳以上	12(2)	17.6%	36(1)	36.7%	48(3)	28.9%
不明	1(1)	1.5%	0(0)	0.0%	1(1)	0.6%
計	68(6)	100.0%	98(1)	100.0%	166(7)	100.0%

表 91 こどもの死亡時における実母の年齢 (精神疾患なし) (第5次報告から第19次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死 (未遂含む)		総数	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
19歳以下	30(9)	12.0%	2(0)	1.9%	32(9)	9.1%
20歳～24歳	70(11)	28.0%	4(0)	3.9%	74(11)	21.0%
25歳～29歳	47(5)	18.8%	13(0)	12.6%	60(5)	17.0%
30歳～34歳	40(8)	16.0%	31(2)	30.1%	71(10)	20.1%
35歳～39歳	43(7)	17.2%	33(1)	32.0%	76(8)	21.5%
40歳以上	20(6)	8.0%	20(0)	19.4%	40(6)	11.3%
計	250(46)	100.0%	103(3)	100.0%	353(49)	100.0%

ウ 実母の妊娠期・周産期の問題

実母の妊娠期・周産期の問題について、第5次報告から第19次報告までの累計で見ると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「予期しない妊娠／計画していない妊娠」が19人（27.9%）と最も多く、次いで「妊婦健康診査未受診」が12人（17.6%）であった。

また、心中による虐待死事例は、「喫煙の常習」「その他（妊娠期の母体側の問題）」「その他（周産期の母体側の問題）」がそれぞれ8人で最も多かった。

表 92 妊娠期・周産期の問題（精神疾患あり）（第5次報告から第19次報告までの累計）

区分	心中以外の虐待死 (68人)		心中による虐待死(未遂含む) (98人)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
切迫流産・切迫早産	9 (4)	13.2%	7 (0)	6.7%
妊娠高血圧症候群	4 (0)	5.9%	4 (0)	3.8%
喫煙の常習	10 (2)	14.7%	8 (0)	7.7%
アルコールの常習	3 (1)	4.4%	4 (0)	3.8%
違法薬物の使用／薬物の過剰摂取等	0 (0)	0.0%	3 (0)	2.9%
マタニティブルーズ	7 (1)	10.3%	7 (0)	6.7%
予期しない妊娠／計画していない妊娠	19 (4)	27.9%	6 (0)	5.8%
若年(10代)妊娠	4 (1)	5.9%	3 (0)	2.9%
お腹をたたく等の墮胎行為 ※1	2 (0)	6.3%	1 (0)	2.0%
母子健康手帳の未交付	3 (0)	4.4%	1 (0)	1.0%
妊婦健康診査未受診	12 (1)	17.6%	6 (0)	5.8%
胎児虐待 ※2	2 (0)	5.6%	0 (0)	0.0%
その他(妊娠期の母体側の問題) ※3	6 (2)	12.0%	6 (0)	8.6%
その他(周産期の母体側の問題) ※3	3 (1)	6.0%	7 (0)	10.0%
本児を妊娠時の特定妊婦としての支援 ※4	3 (2)	30.0%	3 (0)	23.1%

※1 第12次報告から調査。累計母数は、心中以外は32人、心中は49人

※2 第5次報告から第11次報告まで調査。累計母数は、心中以外は36人、心中は49人

※3 第9次報告から調査。累計母数は、心中以外は50人、心中は70人

※4 第18次報告から調査。累計母数は、心中以外は10人、心中は13人

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、「予期しない妊娠／計画していない妊娠」が114人（45.6%）と最も多く、次いで「妊婦健康診査未受診」が101人（40.4%）であった。

表 93 妊娠期・周産期の問題（精神疾患なし）（第5次報告から第19次報告までの累計）

区分	心中以外の虐待死 (250人)		心中による虐待死(未遂含む) (103人)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
切迫流産・切迫早産	29 (6)	11.6%	12 (0)	11.7%
妊娠高血圧症候群	5 (1)	2.0%	3 (0)	2.9%
喫煙の常習	35 (2)	14.0%	4 (0)	3.9%
アルコールの常習	13 (0)	5.2%	1 (0)	1.0%
違法薬物の使用／薬物の過剰摂取等	1 (1)	0.4%	0 (0)	0.0%
マタニティブルー	14 (3)	5.6%	5 (0)	4.9%
予期しない妊娠／計画していない妊娠	114 (22)	45.6%	13 (0)	12.6%
若年(10代)妊娠	64 (13)	25.6%	5 (0)	4.9%
お腹をたたく等の墮胎行為 ※1	3 (0)	2.1%	2 (0)	3.7%
母子健康手帳の未交付	68 (11)	27.2%	1 (0)	1.0%
妊婦健康診査未受診	101 (20)	40.4%	9 (0)	8.7%
胎児虐待 ※2	11 (0)	10.4%	0 (0)	0.0%
その他(妊娠期の母体側の問題) ※3	20 (8)	10.1%	3 (0)	4.1%
その他(周産期の母体側の問題) ※3	8 (0)	4.0%	1 (0)	1.4%
本児を妊娠時の特定妊婦としての支援 ※4	12 (5)	36.4%	0 (0)	0.0%

※1 第12次報告から調査。累計母数は、心中以外は144人、心中は52人

※2 第5次報告から第11次報告まで調査。累計母数は、心中以外は106人、心中は51人

※3 第9次報告から調査。累計母数は、心中以外は199人、心中は74人

※4 第18次報告から調査。累計母数は、心中以外は33人、心中は14人

③ 精神疾患のある実母における事例の概要

ア 死亡につながった虐待の種類

死亡につながった虐待の種類について、第5次報告から第19次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「身体的虐待」が53人（有効割合85.5%）、「ネグレクト」が9人（同14.5%）であった。心中による虐待死事例では、「身体的虐待」が96人（同100.0%）であった。

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、「身体的虐待」が125人（同55.1%）、次いで「ネグレクト」が101人（同44.5%）であり、心中による虐待死事例は、「身体的虐待」が102人（同100.0%）であった。

精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例は、精神疾患のない実母における事例と比較して、直接の死因として身体的虐待が全体に占める割合が高い傾向にある。

表 94 実母による虐待の種類（精神疾患あり）（第5次報告から第19次報告までの累計）

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死 (未遂含む)			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
身体的虐待	53 (2)	77.9%	85.5%	96 (1)	98.0%	100.0%	149 (3)	89.8%	94.3%
ネグレクト	9 (2)	13.2%	14.5%	0 (0)	0.0%	0.0%	9 (2)	5.4%	5.7%
心理的虐待	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
性的虐待	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
不明	6 (2)	8.8%	—	2 (0)	2.0%	—	8 (2)	4.8%	—
計	68 (6)	100.0%	—	98 (1)	100.0%	—	166 (7)	100.0%	—

表 95 実母による虐待の種類（精神疾患なし）（第5次報告から第19次報告までの累計）

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死 (未遂含む)			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
身体的虐待	125 (9)	50.0%	55.1%	102 (3)	99.0%	100.0%	227 (12)	64.3%	69.0%
ネグレクト	101 (23)	40.4%	44.5%	0 (0)	0.0%	0.0%	101 (23)	28.6%	30.7%
心理的虐待	1 (1)	0.4%	0.4%	0 (0)	0.0%	0.0%	1 (1)	0.3%	0.3%
性的虐待	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
不明	23 (13)	9.2%	—	1 (0)	1.0%	—	24 (13)	6.8%	—
計	250 (46)	100.0%	—	103 (3)	100.0%	—	353 (49)	100.0%	—

イ 直接の死因

直接の死因について、第5次報告から第19次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、死因が判明したもののうち、「頸部絞扼による窒息」が15人（有効割合24.6%）と最も多く、次いで「頭部外傷」が8人（同13.1%）であった。また、心中による虐待死事例では、「頸部絞扼による窒息」が33人（同34.4%）で最も多く、次いで「中毒（火災によるものを除く）」が12人（同12.5%）であった。

表 96 直接の死因（精神疾患あり）（第5次報告から第19次報告までの累計）

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死 (未遂含む)			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
頭部外傷	8 (1)	11.8%	13.1%	2 (0)	2.0%	2.1%	10 (1)	6.0%	6.4%
胸部外傷	4 (0)	5.9%	6.6%	1 (0)	1.0%	1.0%	5 (0)	3.0%	3.2%
腹部外傷	2 (1)	2.9%	3.3%	3 (0)	3.1%	3.1%	5 (1)	3.0%	3.2%
外傷性ショック	4 (0)	5.9%	6.6%	3 (0)	3.1%	3.1%	7 (0)	4.2%	4.5%
頸部絞扼による窒息	15 (0)	22.1%	24.6%	33 (1)	33.7%	34.4%	48 (1)	28.9%	30.6%
頸部絞扼以外による窒息	6 (0)	8.8%	9.8%	2 (0)	2.0%	2.1%	8 (0)	4.8%	5.1%
溺水	7 (0)	10.3%	11.5%	11 (0)	11.2%	11.5%	18 (0)	10.8%	11.5%
熱傷	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
車中放置による熱中症・脱水	2 (0)	2.9%	3.3%	0 (0)	0.0%	0.0%	2 (0)	1.2%	1.3%
中毒(火災によるものを除く)	1 (0)	1.5%	1.6%	12 (0)	12.2%	12.5%	13 (0)	7.8%	8.3%
出血性ショック	1 (0)	1.5%	1.6%	11 (0)	11.2%	11.5%	12 (0)	7.2%	7.6%
低栄養による衰弱	2 (1)	2.9%	3.3%	0 (0)	0.0%	0.0%	2 (1)	1.2%	1.3%
脱水	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
凍死	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	1 (0)	1.5%	1.6%	8 (0)	8.2%	8.3%	9 (0)	5.4%	5.7%
病死	2 (1)	2.9%	3.3%	0 (0)	0.0%	0.0%	2 (1)	1.2%	1.3%
転落死 ※1	0 (0)	0.0%	0.0%	1 (0)	14.3%	14.3%	1 (0)	14.3%	14.3%
自死 ※1	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
その他	6 (0)	8.8%	9.8%	9 (0)	9.2%	9.4%	15 (0)	9.0%	9.6%
不明	7 (2)	10.3%		2 (0)	2.0%		9 (2)	5.4%	
計	68 (6)	100.0%	—	98 (1)	100.0%	—	166 (7)	100.0%	—

※1 第19次報告から調査。母数は心中以外は6人、心中は7人

一方、精神疾患のない実母による心中以外の虐待死事例では、不明を除くと「頭部外傷」が 51 人（同 25.2%）と最も多く、次いで「頸部絞扼以外による窒息」が 37 人（同 18.3%）であった。

また、心中による虐待死事例では、「頸部絞扼による窒息」が 30 人（同 30.9%）と最も多く、次いで「中毒（火災によるものを除く）」が 17 人（同 17.5%）であった。

表 97 直接の死因（精神疾患なし）（第 5 次報告から第 19 次報告までの累計）

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死 (未遂含む)			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
頭部外傷	51 (7)	20.4%	25.2%	6 (0)	5.8%	6.2%	57 (7)	16.1%	19.1%
胸部外傷	0 (0)	0.0%	0.0%	3 (0)	2.9%	3.1%	3 (0)	0.8%	1.0%
腹部外傷	6 (0)	2.4%	3.0%	2 (0)	1.9%	2.1%	8 (0)	2.3%	2.7%
外傷性ショック	1 (0)	0.4%	0.5%	2 (0)	1.9%	2.1%	3 (0)	0.8%	1.0%
頸部絞扼による窒息	16 (0)	6.4%	7.9%	30 (0)	29.1%	30.9%	46 (0)	13.0%	15.4%
頸部絞扼以外による窒息	37 (5)	14.8%	18.3%	1 (0)	1.0%	1.0%	38 (5)	10.8%	12.7%
溺水	19 (2)	7.6%	9.4%	15 (2)	14.6%	15.5%	34 (4)	9.6%	11.4%
熱傷	1 (0)	0.4%	0.5%	0 (0)	0.0%	0.0%	1 (0)	0.3%	0.3%
車中放置による熱中症・脱水	8 (0)	3.2%	4.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	8 (0)	2.3%	2.7%
中毒(火災によるものを除く)	0 (0)	0.0%	0.0%	17 (0)	16.5%	17.5%	17 (0)	4.8%	5.7%
出血性ショック	2 (0)	0.8%	1.0%	5 (0)	4.9%	5.2%	7 (0)	2.0%	2.3%
低栄養による衰弱	10 (0)	4.0%	5.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	10 (0)	2.8%	3.3%
脱水	2 (0)	0.8%	1.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	2 (0)	0.6%	0.7%
凍死	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	14 (1)	5.6%	6.9%	11 (0)	10.7%	11.3%	25 (1)	7.1%	8.4%
病死	5 (2)	2.0%	2.5%	0 (0)	0.0%	0.0%	5 (2)	1.4%	1.7%
転落死 ※1	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
自死 ※1	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
その他	30 (11)	12.0%	14.9%	5 (0)	4.9%	5.2%	35 (11)	9.9%	11.7%
不明	48 (18)	19.2%	—	6 (1)	5.8%	—	54 (19)	15.3%	—
計	250 (46)	100.0%	—	103 (3)	100.0%	—	353 (49)	100.0%	—

※1 第 19 次報告から調査。母数は心中以外は6人、心中は7人

年齢別の直接死因についてみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例の中では、第5次報告から第19次報告の総数が15人と最も多い「頸部絞扼による窒息」において、「0歳」が5人と最も多く、次いで「1歳」が4人であった。心中による虐待死事例においては、第5次報告から第19次報告の総数が33人と最も多い「頸部絞扼による窒息」において、「4歳」と「9歳」がともに4人と最も多く、次いで「5歳」、「6歳」がともに3人であった。

表 98 年齢別の直接死因 (精神疾患あり) (第5次報告から第19次報告までの累計)

(心中以外の虐待死) (単位：人)

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	不明	総数
頭部外傷	6(1)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	8(1)
胸部外傷	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	4(0)
腹部外傷	1(1)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(1)
外傷性ショック	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	4(0)
頸部絞扼による窒息	5(0)	4(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	15(0)
頸部絞扼以外による窒息	3(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	6(0)
溺水	5(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	7(0)
熱傷	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
車中放置による熱中症・脱水	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)
中毒(火災によるものを除く)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
出血性ショック	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
低栄養による衰弱	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	2(1)
脱水	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
凍死	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
病死	1(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(1)
転落死 ※1	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
自死 ※1	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
その他	4(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	6(0)
不明	2(1)	2(1)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	7(2)
計	33(4)	9(2)	3(0)	6(0)	2(0)	1(0)	2(0)	2(0)	0(0)	3(0)	1(0)	1(0)	2(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)	68(6)

※1 第19次報告より追加した項目

表 99 年齢別の直接死因 (精神疾患あり) (第5次報告から第19次報告までの累計)

(心中による虐待死) (単位: 人)

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	総数
頭部外傷	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	2(0)
胸部外傷	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
腹部外傷	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	3(0)
外傷性ショック	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	3(0)
頸部絞扼による窒息	1(0)	2(0)	2(0)	2(0)	4(0)	3(0)	3(0)	1(0)	2(0)	4(1)	2(0)	2(0)	2(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)	33(1)
頸部絞扼以外による窒息	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)
溺水	4(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	2(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	11(0)
熱傷	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
車中放置による熱中症・脱水	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
中毒(火災によるものを除く)	1(0)	1(0)	0(0)	3(0)	1(0)	0(0)	2(0)	1(0)	0(0)	2(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	12(0)
出血性ショック	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)	1(0)	2(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	11(0)
低栄養による衰弱	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
脱水	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
凍死	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	8(0)
病死	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
転落死 ※1	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
自死 ※1	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
その他	1(0)	1(0)	0(0)	2(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	9(0)
不明	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)
計	10(0)	7(0)	3(0)	13(0)	6(0)	9(0)	6(0)	5(0)	4(0)	10(1)	5(0)	5(0)	6(0)	2(0)	2(0)	2(0)	1(0)	2(0)	98(1)

※1 は第19次報告より追加した項目

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、第5次報告から第19次報告の総数が51人と最も多い「頭部外傷」において、「0歳」が25人と最も多く、次いで「1歳」が10人であった。心中による虐待死事例は、第5次報告から第19次報告の総数が30人と最も多い「頸部絞扼による窒息」において、「0歳」「4歳」「11歳」がそれぞれ4人と最も多く、次いで「1歳」「3歳」「5歳」「8歳」がそれぞれ3人であった。

表100 年齢別の直接死因 (精神疾患なし) (第5次報告から第19次報告までの累計)

(心中以外の虐待死) (単位:人)

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	不明	総数
頭部外傷	25(3)	10(2)	3(1)	5(1)	3(0)	3(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	51(7)
胸部外傷	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
腹部外傷	1(0)	2(0)	0(0)	2(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	6(0)
外傷性ショック	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
頸部絞扼による窒息	7(0)	1(0)	3(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	16(0)
頸部絞扼以外による窒息	30(4)	5(1)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	37(5)
溺水	14(0)	2(1)	0(0)	2(1)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	19(2)
熱傷	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
車中放置による熱中症・脱水	3(0)	3(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	8(0)
中毒(火災によるものを除く)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
出血性ショック	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)
低栄養による衰弱	2(0)	0(0)	3(0)	2(0)	2(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	10(0)
脱水	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)
凍死	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	0(0)	1(1)	4(0)	4(0)	2(0)	3(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	14(1)
病死	1(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(2)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	5(2)
転落死 ※1	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
自死 ※1	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
その他	16(4)	2(1)	1(0)	5(2)	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	30(11)
不明	35(13)	1(1)	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	7(2)	48(18)
計	135(24)	31(7)	16(2)	25(5)	9(0)	9(0)	3(0)	2(0)	0(0)	1(1)	2(0)	2(0)	0(0)	1(0)	4(3)	1(1)	0(0)	1(1)	8(2)	250(46)

※1 第19次報告より追加した項目

表 101 年齢別の直接死因 (精神疾患なし) (第5次報告から第19次報告までの累計)

(心中による虐待死) (単位:人)

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	不明	総数
頭部外傷	3(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	6(0)
胸部外傷	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	3(0)
腹部外傷	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)
外傷性ショック	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)
頸部絞扼による窒息	4(0)	3(0)	1(0)	3(0)	4(0)	3(0)	0(0)	1(0)	3(0)	0(0)	2(0)	4(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	30(0)
頸部絞扼以外による窒息	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
溺水	5(1)	3(0)	1(0)	3(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	15(2)
熱傷	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
車中放置による熱中症・脱水	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
中毒(火災によるものを除く)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	2(0)	2(0)	2(0)	0(0)	2(0)	2(0)	2(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	17(0)
出血性ショック	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	5(0)
低栄養による衰弱	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
脱水	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
凍死	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	0(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	3(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	11(0)
病死	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
転落死 ※1	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
自死 ※1	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
その他	2(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	5(0)
不明	3(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(1)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	6(1)
計	23(1)	12(0)	5(0)	7(0)	9(0)	7(0)	5(1)	8(0)	6(0)	4(1)	7(0)	5(0)	2(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	103(3)

※1 第19次報告より追加した項目

ウ 死亡時のこどもの年齢

死亡時のこどもの年齢について、第5次報告から第19次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「0歳」が33人（有効割合49.3%）と最も多く、次いで「1歳」が9人（同13.4%）、「3歳」が6人（同9.0%）であった。また、心中による虐待死事例では、「0歳」が際立って多いという特徴は認められず、概ねどの年齢でも発生している。

表 102 こどもの死亡時の年齢（精神疾患あり）（第5次報告から第19次報告までの累計）

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂含む)			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
0歳	33 (4)	48.5%	49.3%	10 (0)	10.2%	10.2%	43 (4)	25.9%	26.1%
1歳	9 (2)	13.2%	13.4%	7 (0)	7.1%	7.1%	16 (2)	9.6%	9.7%
2歳	3 (0)	4.4%	4.5%	3 (0)	3.1%	3.1%	6 (0)	3.6%	3.6%
3歳	6 (0)	8.8%	9.0%	13 (0)	13.3%	13.3%	19 (0)	11.4%	11.5%
4歳	2 (0)	2.9%	3.0%	6 (0)	6.1%	6.1%	8 (0)	4.8%	4.8%
5歳	1 (0)	1.5%	1.5%	9 (0)	9.2%	9.2%	10 (0)	6.0%	6.1%
6歳	2 (0)	2.9%	3.0%	6 (0)	6.1%	6.1%	8 (0)	4.8%	4.8%
7歳	2 (0)	2.9%	3.0%	5 (0)	5.1%	5.1%	7 (0)	4.2%	4.2%
8歳	0 (0)	0.0%	0.0%	4 (0)	4.1%	4.1%	4 (0)	2.4%	2.4%
9歳	3 (0)	4.4%	4.5%	10 (1)	10.2%	10.2%	13 (1)	7.8%	7.9%
10歳	1 (0)	1.5%	1.5%	5 (0)	5.1%	5.1%	6 (0)	3.6%	3.6%
11歳	1 (0)	1.5%	1.5%	5 (0)	5.1%	5.1%	6 (0)	3.6%	3.6%
12歳	2 (0)	2.9%	3.0%	6 (0)	6.1%	6.1%	8 (0)	4.8%	4.8%
13歳	0 (0)	0.0%	0.0%	2 (0)	2.0%	2.0%	2 (0)	1.2%	1.2%
14歳	1 (0)	1.5%	1.5%	2 (0)	2.0%	2.0%	3 (0)	1.8%	1.8%
15歳	0 (0)	0.0%	0.0%	2 (0)	2.0%	2.0%	2 (0)	1.2%	1.2%
16歳	0 (0)	0.0%	0.0%	1 (0)	1.0%	1.0%	1 (0)	0.6%	0.6%
17歳	1 (0)	1.5%	1.5%	2 (0)	2.0%	2.0%	3 (0)	1.8%	1.8%
不明	1 (0)	1.5%		0 (0)	0.0%		1 (0)	0.6%	
計	68 (6)	100.0%	—	98 (1)	100.0%	—	166 (7)	100.0%	—

精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、「0歳」が135人（同55.8%）と最も多く、次いで「1歳」が30人（同12.4%）であった。心中による虐待死事例では、「0歳」が23人（同22.3%）と最も多く、次いで「1歳」が10人（同9.7%）であった。

表 103 こどもの死亡時の年齢（精神疾患なし）（第5次報告から第19次報告までの累計）

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂含む)			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
0歳	135 (24)	54.0%	55.8%	23 (1)	22.3%	22.3%	158 (25)	44.8%	45.8%
1歳	30 (6)	12.0%	12.4%	10 (0)	9.7%	9.7%	40 (6)	11.3%	11.6%
2歳	17 (3)	6.8%	7.0%	7 (0)	6.8%	6.8%	24 (3)	6.8%	7.0%
3歳	25 (5)	10.0%	10.3%	7 (0)	6.8%	6.8%	32 (5)	9.1%	9.3%
4歳	9 (0)	3.6%	3.7%	9 (0)	8.7%	8.7%	18 (0)	5.1%	5.2%
5歳	9 (0)	3.6%	3.7%	7 (0)	6.8%	6.8%	16 (0)	4.5%	4.6%
6歳	3 (0)	1.2%	1.2%	5 (1)	4.9%	4.9%	8 (1)	2.3%	2.3%
7歳	2 (0)	0.8%	0.8%	8 (0)	7.8%	7.8%	10 (0)	2.8%	2.9%
8歳	0 (0)	0.0%	0.0%	6 (0)	5.8%	5.8%	6 (0)	1.7%	1.7%
9歳	1 (1)	0.4%	0.4%	4 (1)	3.9%	3.9%	5 (2)	1.4%	1.4%
10歳	2 (0)	0.8%	0.8%	7 (0)	6.8%	6.8%	9 (0)	2.5%	2.6%
11歳	2 (0)	0.8%	0.8%	5 (0)	4.9%	4.9%	7 (0)	2.0%	2.0%
12歳	0 (0)	0.0%	0.0%	2 (0)	1.9%	1.9%	2 (0)	0.6%	0.6%
13歳	1 (0)	0.4%	0.4%	1 (0)	1.0%	1.0%	2 (0)	0.6%	0.6%
14歳	4 (3)	1.6%	1.7%	1 (0)	1.0%	1.0%	5 (3)	1.4%	1.4%
15歳	1 (1)	0.4%	0.4%	0 (0)	0.0%	0.0%	1 (1)	0.3%	0.3%
16歳	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
17歳	1 (1)	0.4%	0.4%	1 (0)	1.0%	1.0%	2 (1)	0.6%	0.6%
不明	8 (2)	3.2%		0 (0)	0.0%		8 (2)	2.3%	
計	250 (46)	100.0%	—	103 (3)	100.0%	—	353 (49)	100.0%	—

エ 虐待を受けたこどもの性別

虐待を受けたこどもの性別について、第5次報告から第19次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外及び心中による虐待死事例では、「男」79人（47.6%）、「女」87人（52.4%）とそれぞれ約半数であった。

表 104 こどもの性別 (精神疾患あり) (第5次報告から第19次報告までの累計)

区分	人数	構成割合
男	79 (1)	47.6%
女	87 (6)	52.4%
計	166 (7)	100.0%

オ こどもの情緒・行動上の問題

こどもの情緒・行動上の問題について、第5次報告から第19次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「あり」が19人（有効割合 33.9%）であり、そのうち「夜泣き」が9人と最も多かった。

また、心中による虐待死事例では、「あり」が23人（同 33.8%）であり、そのうち「その他」を除くと、「多動」が9人と最も多く、次いで「衝動性」が8人であった。

表 105 こどもの情緒・行動上の問題（精神疾患あり）（第5次報告から第19次報告までの累計）

区分		心中以外の虐待死 (68人)			心中による虐待死(未遂含む) (98人)		
		人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
なし		37(4)	54.4%	66.1%	45(4)	45.9%	66.2%
あり		19(1)	27.9%	33.9%	23(4)	23.5%	33.8%
内訳 (複数回答)	ミルクの飲みムラ	2(1)			1(4)		
	激しい泣き	7(0)			2(4)		
	夜泣き	9(1)			2(4)		
	食事の拒否	1(0)			0(4)		
	夜尿	2(1)			3(4)		
	多動	6(0)			9(4)		
	衝動性	4(0)			8(4)		
	かんしゃく	6(0)			7(4)		
	自傷行為	1(0)			2(4)		
	性器いじり	1(0)			1(4)		
	指示に従わない	7(0)			6(4)		
	なつかない	2(1)			1(4)		
	無表情、表情が乏しい	1(0)			2(4)		
	固まってしまう	1(0)			1(4)		
	盗癖	1(0)			1(4)		
	虚言癖	1(0)			1(4)		
	不登校	3(0)			1(4)		
その他	6(0)			11(4)			
不明		12(1)	17.6%		30(4)	30.6%	

精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、「あり」が51人（同27.1%）であり、そのうち「激しい泣き」が16人と最も多かった。心中による虐待死事例では、「あり」が14人（同17.5%）であり、そのうち「指示に従わない」が7人と最も多かった。

表 106 こどもの情緒・行動上の問題（精神疾患なし）（第5次報告から第19次報告までの累計）

区分		心中以外の虐待死 (250人)			心中による虐待死(未遂含む) (103人)		
		人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
なし		137(31)	54.8%	72.9%	66(3)	64.1%	82.5%
あり		51(6)	20.4%	27.1%	14(0)	13.6%	17.5%
内訳 (複数回答)	ミルクの飲みムラ	12(0)			4(0)		
	激しい泣き	16(1)			2(0)		
	夜泣き	11(1)			3(0)		
	食事の拒否	7(0)			2(0)		
	夜尿	8(0)			4(0)		
	多動	10(0)			5(0)		
	衝動性	5(1)			4(0)		
	かんしゃく	3(0)			2(0)		
	自傷行為	2(1)			0(0)		
	性器いじり	0(0)			0(0)		
	指示に従わない	12(2)			7(0)		
	なつかない	10(1)			0(0)		
	無表情、表情が乏しい	10(3)			0(0)		
	固まってしまう	5(2)			0(0)		
	盗癖	2(0)			0(0)		
	虚言癖	0(0)			1(0)		
不登校	4(2)			0(0)			
その他	11(1)			5(0)			
不明		62(9)	24.8%		23(0)	22.3%	

カ 支援者の有無

支援者の有無について、第5次報告から第19次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、支援者「あり」が60人（有効割合93.8%）であり、そのうち「配偶者」が41人と最も多く、次いで「行政の相談担当課」が34人、「親」が33人であった。

また、心中による虐待死事例では、支援者「あり」が72人（同93.5%）であり、そのうち「親」が36人と最も多く、次いで「配偶者」が35人、「保育所などの職員」「行政の相談担当課」がともに31人であった。

表 107 支援者の有無（精神疾患あり）（第5次報告から第19次報告までの累計）

区分		心中以外の虐待死 (68人)			心中による虐待死(未遂含む) (98人)		
		人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
なし		4(1)	5.9%	6.3%	5(0)	5.1%	6.5%
あり		60(4)	88.2%	93.8%	72(1)	73.5%	93.5%
内訳 (複数回答) ※1	配偶者	41(4)			35(0)		
	親	33(3)			36(0)		
	配偶者の親	22(1)			7(0)		
	虐待者のきょうだい	11(2)			18(0)		
	配偶者のきょうだい	5(1)			2(0)		
	近所の人	2(0)			4(0)		
	職場の友人・知人	0(0)			1(0)		
	保育所などの職員	17(2)			31(0)		
	ベビーシッター	1(0)			0(0)		
	行政の相談担当課	34(4)			31(0)		
	職場以外の友人	1(0)			6(0)		
	子育てサークル	1(0)			0(0)		
	親類	4(2)			5(0)		
	その他	4(0)			10(1)		
不明		4(1)	5.9%		21(0)	21.4%	

※1 内訳は第6次報告から第19次報告までの累計

精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、支援者「あり」が186人（同79.1%）であり、そのうち「配偶者」が111人と最も多く、次いで「親」が109人であった。心中による虐待死事例では、支援者「あり」が77人（同97.5%）であり、そのうち「親」が47人と最も多かった。

表 108 支援者の有無（精神疾患なし）（第5次報告から第19次報告までの累計）

区分		心中以外の虐待死 (250人)			心中による虐待死(未遂含む) (103人)		
		人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
なし		49(8)	19.6%	20.9%	2(0)	1.9%	2.5%
あり		186(36)	74.4%	79.1%	77(2)	74.8%	97.5%
内訳 (複数回答) ※1	配偶者	111(24)			38(2)		
	親	109(20)			47(2)		
	配偶者の親	48(9)			24(0)		
	虐待者のきょうだい	32(6)			20(0)		
	配偶者のきょうだい	10(2)			1(0)		
	近所の人	6(1)			4(0)		
	職場の友人・知人	8(0)			6(0)		
	保育所などの職員	49(11)			36(0)		
	ベビーシッター	0(0)			0(0)		
	行政の相談担当課	92(18)			33(2)		
	職場以外の友人	22(3)			3(0)		
	子育てサークル	1(0)			0(0)		
	親類	20(6)			11(0)		
	その他	22(5)			4(0)		
不明		15(2)	6.0%		24(1)	23.3%	

※1 内訳は第6次報告から第19次報告までの累計

④ 関係機関の関与状況

関係機関の関与状況について、第5次報告から第19次報告までの累計でみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「児童相談所」の関与が31人（45.6%）、「市区町村（虐待対応担当部署）」の関与が36人（52.9%）であり、「その他の機関」のうち、「市区町村の母子保健担当部署（保健センター等）」が60人（88.2%）、「医療機関」が55人（80.9%）であった。

心中による虐待死事例は、「児童相談所」の関与が34人（34.7%）、「市区町村（虐待対応担当部署）」が39人（39.8%）であり、「その他の機関」のうち、「養育機関・教育機関」が64人（65.3%）、「医療機関」が58人（59.2%）であった。

表 109 関係機関の関与（精神疾患あり）（第5次報告から第19次報告までの累計）

区分		心中以外の虐待死 (68人)		心中による虐待 (未遂含む)(98人)		総数 (166人)	
		人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
児童相談所		31(3)	45.6%	34(1)	34.7%	65(4)	39.2%
市区町村(虐待対応担当部署)		36(6)	52.9%	39(0)	39.8%	75(6)	45.2%
その他の機関 ※1		63(6)	92.6%	89(1)	90.8%	152(7)	91.6%
内訳 (複数回答)	福祉事務所	20(3)	29.4%	35(1)	35.7%	55(4)	33.1%
	家庭児童相談室	12(3)	17.6%	25(0)	25.5%	37(3)	22.3%
	民生児童委員	11(0)	16.2%	6(0)	6.1%	17(0)	10.2%
	保健所	17(0)	25.0%	17(0)	17.3%	34(0)	20.5%
	市区町村の母子保健担当部署(保健センター等)	60(6)	88.2%	53(0)	54.1%	113(6)	68.1%
	養育機関・教育機関	29(1)	42.6%	64(1)	65.3%	93(2)	56.0%
	医療機関	55(5)	80.9%	58(1)	59.2%	113(6)	68.1%
	助産師 (医療機関に勤務する者を除く)	7(0)	10.3%	6(0)	6.1%	13(0)	7.8%
	警察	17(1)	25.0%	20(0)	20.4%	37(1)	22.3%
	婦人相談所	0(0)	0.0%	1(0)	1.0%	1(0)	0.6%
配偶者暴力相談支援センター	1(0)	1.5%	0(0)	0.0%	1(0)	0.6%	

※1 「その他の機関」は、内訳の中で関与あり（「関与はあったが虐待の認識なし」または「関与あり虐待の認識もあり」）と回答した人数

精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例は、「児童相談所」の関与が 63 人 (25.2%)、「市区町村 (虐待対応担当部署)」の関与が 79 人 (31.6%) であり、「その他の機関」のうち、「市区町村の母子保健担当部署 (保健センター等)」が 157 人 (62.8%)、「医療機関」が 120 人 (48.0%) であった。

心中による虐待死事例は、「児童相談所」の関与が 19 人 (18.4%)、「市区町村 (虐待対応担当部署)」の関与が 18 人 (17.5%) であり、「その他の機関」のうち、「市区町村の母子保健担当部署 (保健センター等)」が 72 人 (69.9%)、「養育機関・教育機関」が 46 人 (44.7%) 「医療機関」が 42 人 (40.8%) であった。

表 110 関係機関の関与 (精神疾患なし) (第 5 次報告から第 19 次報告までの累計)

区分		心中以外の虐待死 (250 人)		心中による虐待 (未遂含む)(103 人)		総数 (353 人)	
		人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
児童相談所		63(12)	25.2%	19(0)	18.4%	82(12)	23.2%
市区町村(虐待対応担当部署)		79(20)	31.6%	18(0)	17.5%	97(20)	27.5%
その他の機関 ※1		207(35)	82.8%	95(3)	92.2%	302(38)	85.6%
内訳 (複数回答)	福祉事務所	61(16)	24.4%	24(0)	23.3%	85(16)	24.1%
	家庭児童相談室	48(7)	19.2%	14(0)	13.6%	62(7)	17.6%
	民生児童委員	17(2)	6.8%	6(0)	5.8%	23(2)	6.5%
	保健所	23(3)	9.2%	9(2)	8.7%	32(5)	9.1%
	市区町村の母子保健担当部署(保健センター等)	157(31)	62.8%	72(2)	69.9%	229(33)	64.9%
	養育機関・教育機関	77(15)	30.8%	46(2)	44.7%	123(17)	34.8%
	医療機関	120(23)	48.0%	42(1)	40.8%	162(24)	45.9%
	助産師 (医療機関に勤務する者を除く)	15(1)	6.0%	10(0)	9.7%	25(1)	7.1%
	警察	34(5)	13.6%	9(0)	8.7%	43(5)	12.2%
	婦人相談所	8(2)	3.2%	1(0)	1.0%	9(2)	2.5%
配偶者暴力相談支援センター	2(1)	0.8%	0(0)	0.0%	2(1)	0.6%	

※1 「その他の機関」は、内訳の中で関与あり(「関与はあったが虐待の認識なし」または「関与あり虐待の認識もあり」と回答した人数

また、市区町村関与の状況と虐待の認識について、第5次報告から第19次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では「市区町村（虐待対応担当部署）の関与あり」36人（52.9%）のうち「虐待の認識があり対応していた」が15人、「虐待の可能性は認識していたが、確定していなかった」が11人、「虐待の認識はなかった」が10人であった。心中による虐待死事例では、「市区町村（虐待対応担当部署）の関与あり」39人（39.8%）のうち「虐待の認識があり対応していた」が17人、「虐待の可能性は認識していたが、確定していなかった」が10人、「虐待の認識はなかった」が12人であった。

表 111 市区町村関与の状況と虐待の認識（精神疾患あり）（第5次報告から第19次報告までの累計）

区分		心中以外の虐待死		心中による虐待死 (未遂含む)		総数	
		人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
市区町村(虐待対応担当部署)の関与なし		32(4)	47.1%	58(0)	59.2%	90(1)	54.2%
市区町村(虐待対応担当部署)の関与あり		36(2)	52.9%	39(1)	39.8%	75(6)	45.2%
内訳	虐待の認識があり対応していた	15(2)	/	17(0)	/	32(2)	/
	虐待の可能性は認識していたが、 確定していなかった	11(3)		10(0)		21(3)	
	虐待の認識はなかった	10(1)		12(0)		22(1)	
不明		0(0)	0.0%	1(0)	1.0%	1(0)	0.6%
計		68(6)	100.0%	98(1)	100.0%	166(7)	100.0%

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では「市区町村（虐待対応担当部署）の関与あり」79人（31.6%）のうち「虐待の認識があり対応していた」が31人であった。「虐待の可能性は認識していたが、確定していなかった」は23人、「虐待の認識はなかった」は25人であった。心中による虐待死事例では、「市区町村（虐待対応担当部署）の関与あり」18人（17.5%）のうち、「虐待の認識があり対応していた」は6人、「虐待の可能性は認識していたが、確定していなかった」が3人、「虐待の認識はなかった」が9人であった。

表 112 市区町村関与の状況と虐待の認識（精神疾患なし）（第5次報告から第19次報告までの累計）

区分		心中以外の虐待死		心中による虐待死 (未遂含む)		総数	
		人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
市区町村(虐待対応担当部署)の関与なし		171(26)	68.4%	83(3)	80.6%	254(29)	72.0%
市区町村(虐待対応担当部署)の関与あり		79(20)	31.6%	18(0)	17.5%	97(20)	27.5%
内訳	虐待の認識があり対応していた	31(8)	/	6(0)	/	37(8)	/
	虐待の可能性は認識していたが、確定していなかった	23(5)		3(0)		26(5)	
	虐待の認識はなかった	25(7)		9(0)		34(7)	
不明		0(0)	0.0%	2(0)	1.9%	2(0)	0.6%
計		250(46)	100.0%	103(3)	100.0%	353(49)	100.0%

(11) 総括

対象事例について、こどもの死亡を防ぐために必要であったと考えられることや事例への援助における留意点等といった視点を踏まえて自由記載を求めた。

内容をみると、「関係機関との連携」「アセスメントのあり方」「こどもと法律上の親子関係がない者との関係」「体制の整備」「妊婦への支援」等に関する記載が多かった。

記載内容の一部抜粋

関係機関との連携
○ 児童虐待通告後に、過去の経過も踏まえて要保護児童対策地域協議会の案件とし、関係機関が連携して安全確認を実施するなどの判断・対応を行う。
○ 保護者が疾病や障害によりこどもの養育に不安がある場合、保護者の養育力を具体的に評価すること。評価に当たっては、かかりつけ医などの関係機関との連携を含めた調査を検討することが必要である。
○ 個々の事例に対して、課題やリスク、支援方法などを具体的に可視化するための支援計画を示し、市区町村と関係機関との情報共有や役割分担の明確化を図るとともに支援方針の進捗管理と見直しが図れるようにすること。
○ 精神科への継続受診の必要性について本人の意向を尊重しすぎてしまったが、受診を勧める際には、より専門的なアセスメントを行うことが必要である。
○ 精神疾患の既往がある場合には、受診や服薬の状況、症状悪化などについて見守り、医療や精神保健分野との連携強化を図るとともに、精神疾患等への理解を深めるための周知啓発を行い、早期に専門的な相談につながる取組を強化することが必要。
○ 知的障害などによりグループホームと相談支援事業所が関わっている場合、相談支援事業所やグループホームに対して日常の関わりを確認し、小さな変化を見落とさないように伝えることも必要。
○ 複数の自治体に関連する事案では、互いの情報の齟齬をなくすために全ての関係している児童相談所が一堂に会し、アセスメント見直しも視野に入れた引き継ぎを実施するとともに、それぞれのこどもを中心に据え、児童相談所間で意見交換をすることが重要になる。
○ 速やかに支援ニーズとリスクを把握するため、移管元の児童相談所に対しアセスメントと支援経過の要点をまとめた引き継ぎを求めるべきであった。
○ 転入時には転入前の自治体の情報を含めて関係機関と協議しアセスメントを行い、支援方針を共有する必要がある。
○ 祖父母等の支援があることを過大に評価していた。行政からの相談支援に拒否的であり、困り感の表出が難しい家庭については、地域で孤立化しないような相談支援の仕組みが必要である。
○ 民生委員等の地域資源も活かした見守りや情報共有の体制構築。

アセスメントのあり方	
○ 複雑な背景がある世帯に対しては、アプローチやリスクアセスメントのあり方などを検討する必要がある。	
○ 保護者の求めに応じて措置を解除する形で家族再統合を図るのではなく、記録を精査し、家庭内のリスクを読み取ることなど、家族環境の変化に伴うアセスメントを行うべきである。	
○ 機械的に要支援レベルを判断するのではなく、行為の危険性を実質的に判断することが必要である。	
○ 一時保護前後には関係機関の意見も聴取する形でケース検討会議を行い、保護の期間や支援計画等を入念に検討する必要がある。	
○ 頭部外傷事案等が発生した時には、児童相談所は保護者が説明する受傷機転と医師が見立てた受傷機転が整合し、明らかに事故であると認められる場合等を除き、積極的にセカンドオピニオンを行うことが必要。	
○ 児童相談所の職員でも基本的な医学的知識の習得は必要である。援助方針の策定に当たっての手順や確認事項を整理、周知を図ることにより、児童相談所が医療機関と必要な情報を共有し、適切な役割分担のもとで協働するための構築を図ることができる。	
○ 初回虐待通告対応後のリスクについて、関係機関からの情報を元に今一度見直す必要があった。	
○ 切れ目ない支援を続ける中で、母との関係が途切れることなく、良好な関係を継続していくことを重視したために、虐待種別や重症度を変更できなかった。	
○ 適切なアセスメントに基づく対応の重要性、要保護児童対策地域協議会における情報共有と共同アセスメント、共同プラン検討の重要性を念頭に置き、要保護児童対策地域協議会の進行や、個別ケース検討会議の実施を積極的に行う。	
○ 家族再統合が円滑に行われているかの確認を徹底し、支援の中で家族構成に変化が生じた際には、保護者や関係機関と直接会って、相互に協力しあう関係性を継続することが不可欠である。	
○ 実際の支援者は客観的な見立てがしにくいことがあるため、SVによるスーパービジョンを受け、多角的な視点を持って、より適切な支援につなげる必要がある。	
○ こどもだけでなく家族を見ていくという視点、チームで支援する視点を持つことを改めて共有。	
こどもと法律上の親子関係がない者との関係	
○ 同居人や居所について正確な情報を得られず、同居人を含む生活世帯全体を捉えたリスクアセスメントができず虐待が深刻化する可能性を認知できなかった。	
○ 親族を含めた保護者の交友関係についても把握し本児との関係性にリスクを認めた場合には、必要に応じて躊躇なく一時保護を行うなど支援方針を見直す。	
○ 交際相手であっても保護者として指導の対象とする運用が可能であることを念頭に関係機関の協力を得ながら情報を収集し適切な評価を行う必要がある。	

体制の整備	
	○ こどもの安全を守るために躊躇なく一時保護できるよう、一時保護所を整備しておく必要がある。
	○ 業務過多に対して人員増員とともに業務分担の見直しを行うこと、ICTの活用の推進等により業務改善を図り、過重な業務負担を軽減することが必要である。
	○ 若年層の母親も多いことから、SNSの活用等も含め、若年層等にターゲットを絞った啓発活動や包括的性教育を全国的に推進していくことが必要になる。
	○ 相談できる相手がいなかったことが虐待に繋がる要因となるので、学校での相談環境や望まない妊娠をしてしまったときなどの対処法など相談できる先としての整備が必要。
	○ 関係機関の訪問等の機会を通して子育て支援サービスの積極的な利用を呼びかけ、保護者の負担軽減や関係機関との接点を持つ糸口となるよう努めるとともに、こどもの養育状況等を踏まえながら、必要に応じて母子生活支援施設への入所措置等による虐待リスクの逡減を図る。
妊婦への支援	
	○ 医療機関への受診等の無い妊婦について、どの様に状況を把握していくべきかの検討が必要。
	○ 予期せぬ妊娠により悩みや不安を抱えた若年妊婦等が早期に相談支援につながるよう、民間の支援機関も含めた妊娠相談窓口の周知強化を図る必要性がある。
	○ 妊娠期の時点で支援機関が把握できず医療等適切な支援につながりにくい事案においては、妊娠、出産における相談支援に関する啓発がより一層必要であり、早期の社会的養護等（里親の新生児委託等）の取組について議論していく必要がある。
	○ 本児の所属がないことや行政への支援に拒否的であることなどをリスク要因として重く捉え、虐待担当部署が母子保健部門と協働で継続支援するべきであった。
	○ 問診等で家族に関するより詳細な情報収集をいかに行うかが課題。
心中事例について	
	○ 残された家族への支援として学校を中心に児童相談所や保健所、要保護児童対策地域協議会等の関係機関が介入し、医療機関とも連携を取りながら支援を行った。残された家族の後追い自殺の可能性も視野に入れた対応の実施。
	○ 偶発的に起こったことか、または防ぐことができる何かしらの支援はあったのか、見えないサインを感じとることの難しさがある。